

自分らしく働く介護を。



2022

きらケア介護白書



目次

きらケア介護白書 2022

介護職員調査

01. 介護職員・介護の仕事について

1-1.	自分自身の性格	5
1-2.	介護職員がよく使う SNS やメディア	6
1-3.	介護職員として働き始めたときの年齢	7
1-4.	介護職員としての通算の経験年数	7
1-5.	介護職員として働くようになったきっかけ	8
1-6.	介護職員になってから感じたギャップ	9
1-7.	介護職員の仕事の魅力・やりがい	10
1-8.	介護の仕事で大変だと感じること	11

02. 現在の仕事について

2-1.	職場までの通勤手段	12
2-2.	毎日の残業の有無とその理由	13
2-3.	休憩時間の過ごし方	14
2-4.	毎月の平均休日日数	14
2-5.	直近一年間で取得した有給休暇の日数	15
2-6.	現在の職場での有給休暇の取りやすさ	16
2-7.	普段の休日の過ごし方	18
2-8.	現在の職場の満足度	19

目次

きらケア介護白書 2022

03. 現在の収入について

3-1.	正職員の手取りの月給	21
3-2.	非正規職員の手取りの月給	22
3-3.	正職員のボーナス（賞与）の有無	23
3-4.	現在の収入の満足度	25
3-5.	副業への興味	27

04. 介護職員の就職・転職について

4-1.	現在の職場に就職・転職した理由	28
4-2.	異業界での就職経験の有無	29
4-3.	介護職員としての転職経験の有無	30
4-4.	介護職員として転職をした理由	30
4-5.	就職先探しで利用していた（している）もの	31
4-6.	仕事に求めるもの・価値観	32

05. 今後のキャリアについて

5-1.	現在の転職意欲	33
5-2.	転職に関して不安に感じること	34
5-3.	ずっと介護職を続けたいと感じるか	35
5-4.	今後取得したい資格	37

目次

きらケア介護白書 2022

介護事業所調査

01. 介護職員の採用について

1-1. 介護職員の過不足状況	38
1-2. 介護職員の採用方法	39

02. 介護職員の離職防止・定着について

2-1. 介護職員の定着状況	41
2-2. 現在行っている定着率向上の取り組み	41

03. 介護事業所の ICT・介護ロボットの活用について

3-1. ICT や介護ロボットの導入率	42
3-2. 導入をしているまたは導入を検討している ICT や 介護ロボットの種類	42
3-3. ICT や介護ロボットを導入時の介護職員の反応	43
3-4. ICT や介護ロボットを導入後の効果	43
3-5. ICT や介護ロボットを導入していない理由や懸念点	44

きらケア介護白書 2022

04. 外国人スタッフの雇用について

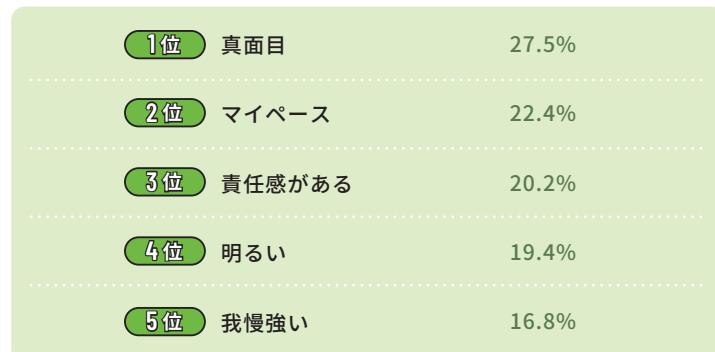
4-1.	外国人スタッフの雇用経験	45
4-2.	雇用経験のある外国人の在留資格と国籍	45
4-3.	外国人スタッフの採用方法	46
4-4.	外国人スタッフを採用する時に感じた不安	46
4-5.	外国人スタッフを雇用してよかったですと感じること	47
4-6.	外国人スタッフを雇用して困ったこと	47
4-7.	今後の外国人スタッフの受け入れ意欲	48
4-8.	外国人スタッフの受け入れに関して不安や抵抗を感じること	48

介護職員調査

01. 介護職員・介護の仕事について

1-1. 自分自身の性格

今回調査した介護職員に自身の性格について調査した結果、「真面目」が27.5%でもっとも多く、次いで「マイペース(22.4%)」、「責任感がある(20.2%)」となりました。性年代別で見ても、「真面目」「マイペース」「責任感がある」のいずれかが上位を占めていますが、3位以下はばらつきが見られます。特に、20代～30代では、男性は「やさしく温厚」「几帳面」が多く、女性は「負けず嫌い」「明るい」が多いという結果となりました。



※回答数: 2,141人

(性年代別) 自分自身の性格

男性

年代 (回答数)	20代 (49s)	30代 (177s)	40代 (241s)	50代 (213s)	60代 (122s)
1位	マイペース 30.6%	真面目 27.7%	マイペース 25.7%	マイペース 26.8%	真面目 32%
2位	真面目 22.4%	マイペース 26%	真面目 25.3%	真面目 23.5%	責任感がある 26.2%
3位	思いやりがある 20.4%	優しく温厚 18.1%	優しく温厚 23.7%	責任感がある 19.7%	明るい 23.8%
4位	几帳面 16.3%	几帳面 18.1%	慎重 16.2%	明るい 19.2%	我慢強い 23%
5位	堅実 14.3%	我慢強い 16.9%	几帳面 15.8%	優しく温厚 19.2%	コミュニケーション能力が高い 20.5%

女性

年代 (回答数)	20代 (156s)	30代 (342s)	40代 (289s)	50代 (329s)	60代 (223s)
1位	真面目 28.8%	マイペース 30.1%	真面目 28%	明るい 29.2%	真面目 30.9%
2位	マイペース 25.6%	真面目 27.2%	責任感がある 21.5%	真面目 27.7%	責任感がある 26.5%
3位	負けず嫌い 22.4%	負けず嫌い 22.2%	明るい 20.8%	責任感がある 24%	明るい 21.5%
4位	責任感がある 18.6%	責任感がある 19.6%	我慢強い 20.4%	サバサバしている 20.7%	協調性がある 21.1%
5位	明るい 15.4%	明るい 17.5%	マイペース 20.1%	我慢強い 20.7%	思いやりがある 19.7%

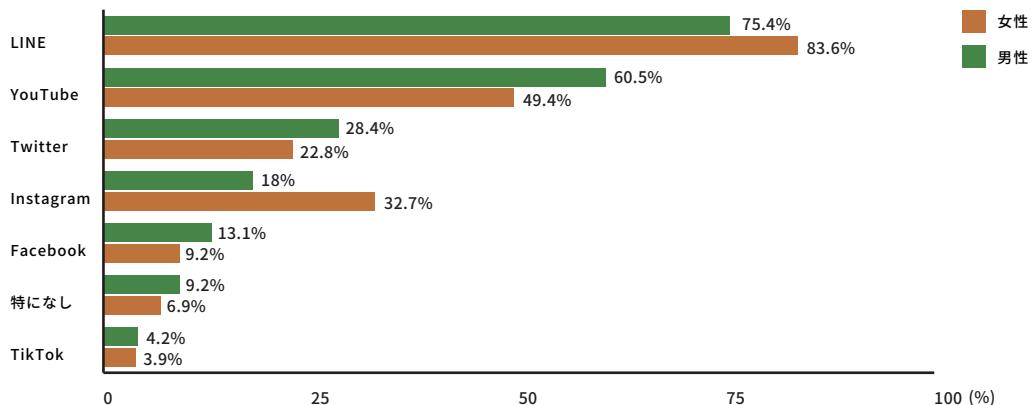
※回答数: 男性802人 女性1,339人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

1-2. 介護職員がよく使う SNS やメディア

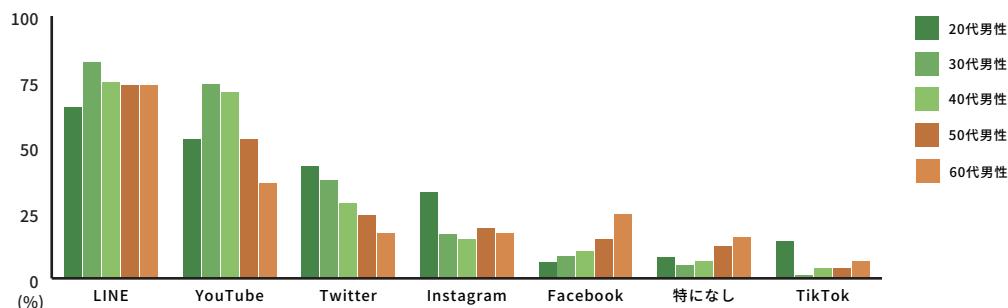
介護職員が普段よく使用する SNS やメディアは、男女ともに「LINE」、「YouTube」という結果となりました。一方で、女性の「Instagram」利用率は、男性を大きく上回っています。

普段スマホでよく利用する SNS やメディア



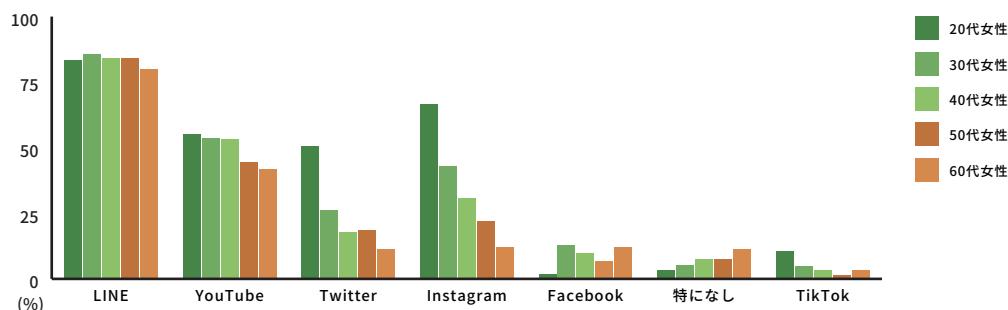
※回答数: 2,141人 ※複数回答

20代～60代男性



※回答数: 802人 ※複数回答

20代～60代女性



※回答数: 1,339人 ※複数回答

介護職員調査

1-3. 介護職員として働き始めたときの年齢

介護職員として働き始めたときの平均年齢は、33.3歳でした。また、現在50代以上の方は40代からキャリアをはじめたという方も多く、介護の仕事はどの年代の方もチャレンジできる仕事であることがわかります。

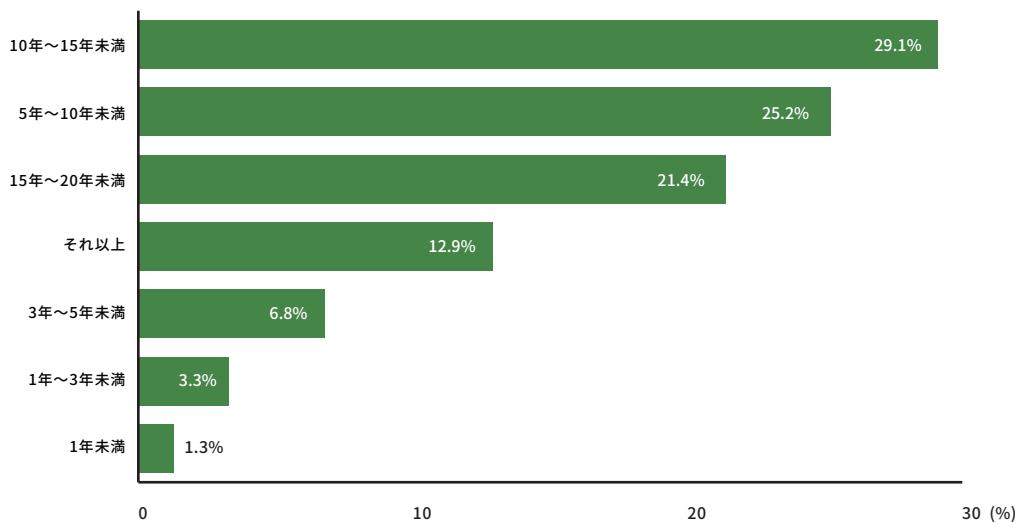
全体	33.3歳
20代	21.4歳
30代	23.9歳
40代	29.3歳
50代	40.2歳
60代	49.5歳

※回答数: 2,141人

1-4. 介護職員としての通算の経験年数

介護職員としての通算の経験年数は、「10年～15年未満」が29.1%ともっとも多く、次いで「5年～10年未満(25.2%)」、「15年～20年未満(21.4%)」でした。

介護系の仕事に就いてからの通念の経験年数

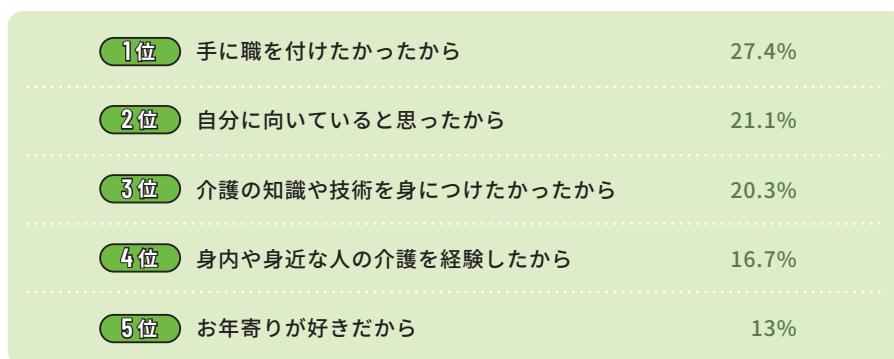


※回答数: 2,141人

介護職員調査

1-5. 介護職員として働くと思ったきっかけ

介護職員として働くと思った一番の理由は、「手に職を付けたかったから (27.4%)」がもっと多く、「自分に向いていると思ったから (21.1%)」「介護の知識や技術を身につけたかったから (20.3%)」と続きます。年代別で見ると、20代は、3位「感謝される仕事をしたかったから (19%)」、5位「ボランティアや職業体験で興味を持ったから (13.7%)」など、仕事自体のおもしろさややりがいに軸を置いた理由の回答率がほかの年代よりも高いことがわかりました。一方、30代以降は「身内や身近な人の介護を経験したから」「介護の知識や技術を身につけたかったから」など現実的な理由の回答率が高くなる傾向にあります。



※回答数: 2,141人

(年代別) 介護職員として働くと思った一番の理由

年代 (回答数)	20代 (205s)	30代 (519s)	40代 (530s)	50代 (542s)	60代 (345s)
1位	自分に向いていると 思ったから 22.4%	手に職を 付けたかったから 29.7%	手に職を 付けたかったから 29.6%	手に職を 付けたかったから 28.2%	介護の知識や技術を 身につけたかったから 34.8%
2位	手に職を 付けたかったから 20.5%	自分に向いていると 思ったから 23.7%	自分に向いていると 思ったから 21.7%	介護の知識や技術を 身につけたかったから 24.7%	手に職を 付けたかったから 23.2%
3位	感謝される仕事を したかったから 19%	お年寄りが 好きだから 19.5%	介護の知識や技術を 身につけたかったから 16.4%	自分に向いていると 思ったから 18.3%	身内や身近な人の 介護を経験したから 21.7%
4位	お年寄りが 好きだから 14.6%	身内や身近な人の 介護を経験したから 15.6%	身内や身近な人の 介護を経験したから 16.4%	身内や身近な人の 介護を経験したから 17.3%	自分に向いていると 思ったから 20%
5位	ボランティアや職業体験で 興味を持ったから 13.7%	介護の知識や技術を 身につけたかったから 14.1%	身内や知人に 勧められたから 13.8%	今後も伸びていく 業界だから 13.1%	介護なら自分でも できそうだと思ったから 15.7%

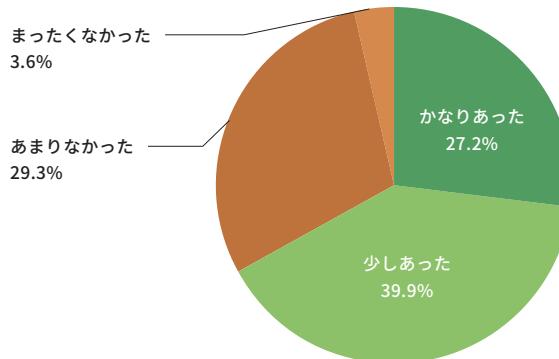
※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

1-6. 介護職員になってから感じたギャップ

「介護職に就く前に持っていたイメージ」と「実際に介護職に就いてからの現実」にギャップがあったかを調査した結果、「かなりあった」が27.2%、「少しあった」が39.9%と、7割弱の方が「ギャップがあった」と回答しました。

介護職に就く前に持っていたイメージと実際に介護職に就いてからのギャップ



※回答数: 2,141人

介護職就く前に持っていたイメージよりも現実の方がよかつたことについては、「やりがいがある(34.2%)」がもっと多く、次いで「自分に向いている(25.6%)」、「残業がほとんどない(14.6%)」という結果となりました。

1位	やりがいがある	34.2%
2位	自分に向いている	25.6%
3位	残業がほとんどない	14.6%
4位	働きやすい	14%
5位	楽しい	13.9%

※回答数: 1,436人 ※5位まで抜粋

一方、介護職に就く前に持っていたイメージよりも現実の方がよくなかったことについては、「給料が低い(63.5%)」がもっと多く、次いで「思っていたよりも忙しい(46.3%)」、「休みづらい(35.6%)」という結果になりました。

1位	給料が低い	63.5%
2位	思っていたよりも忙しい	46.3%
3位	休みづらい	35.6%
4位	残業が多い	17.4%
5位	働きづらい	11.3%

※回答数: 1,436人 ※5位まで抜粋

介護職員調査

1-7. 介護職員の仕事の魅力・やりがい

仕事の魅力ややりがいとなる介護職員として働く上で感じるメリットは、「介護の技術や知識が身につく(45.4%)」がもっとも多く、次いで「自分の家族を介護するときに役立つ(30.2%)」、「医療に関する知識を習得出来る(21.9%)」という結果となりました。また、経験年数別に見ると、介護歴が1年未満の方は「数字によるノルマがない(21.4%)」や「学歴や職歴、年齢に関係なく働くことができる(21.4%)」など、介護職の始めやすさにも魅力を感じていることがわかりました。

1位	介護の技術や知識が身につく	45.4%
2位	自分の家族を介護するときに役立つ	30.2%
3位	医療に関する知識を習得出来る	21.9%
4位	平日に休みが取れる	19.6%
5位	社会や人の役に立てる	15.6%

※回答数: 2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

経験年数別 介護職員として働く上で感じるメリット

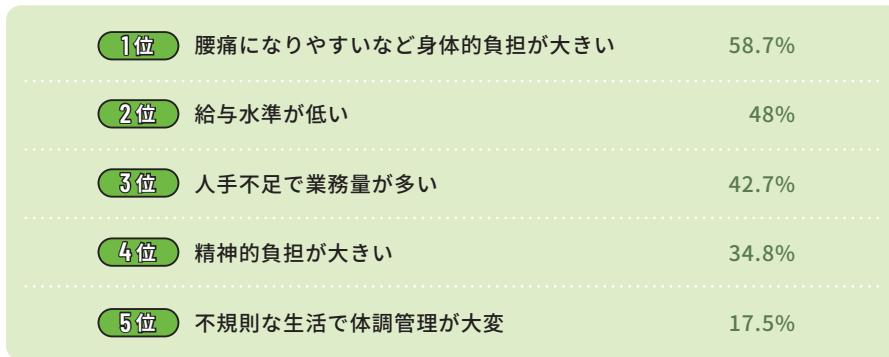
	1年未満 (28s)	1年～3年未満 (71s)	3年～10年未満 (685s)	10年～ (1357s)
1位	介護の技術や知識が身につく 35.7%	介護の技術や知識が身につく 43.7%	介護の技術や知識が身につく 47.4%	介護の技術や知識が身につく 44.7%
2位	自分の家族を介護するときに役立つ 21.4%	自分の家族を介護するときに役立つ 23.9%	自分の家族を介護するときに役立つ 32.3%	自分の家族を介護するときに役立つ 29.6%
3位	数字によるノルマがない 21.4%	社会や人の役に立てる 22.5%	医療に関する知識を習得出来る 18.4%	医療に関する知識を習得出来る 24.3%
4位	学歴や職歴、年齢に関係なく働くことができる 21.4%	安定している業界のため、なくなることがない 16.9%	平日に休みが取れる 18.1%	平日に休みが取れる 20.9%
5位	手に職がつく 14.3%	医療に関する知識を習得出来る 14.1%	社会や人の役に立てる 16.2%	やりがいをもって働くことができる 16.2%

※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

1-8. 介護の仕事で大変だと感じること

仕事の大変さとなる介護職員として働く上で感じるデメリットは、「腰痛になりやすいなど身体的負担が大きい」が58.7%ともっとも多く、「給与水準が低い(48%)」、「人手不足で業務量が多い(42.7%)」と続きます。介護の仕事は自分や家族、社会の将来のためになると感じている一方、身体や生活などに負荷がかかると考えている介護職員が多いという結果となりました。



※回答数: 2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

経験年数別 介護職員として働く上で感じるデメリット

	1年未満 (28s)	1年～3年未満 (71s)	3年～10年未満 (685s)	10年～ (1357s)
1位	腰痛になりやすいなど 身体的負担が大きい 60.7%	腰痛になりやすいなど 身体的負担が大きい 47.9%	腰痛になりやすいなど 身体的負担が大きい 55.8%	腰痛になりやすいなど 身体的負担が大きい 60.6%
2位	精神的負担が大きい 39.3%	給与水準が低い 42.3%	給与水準が低い 45.5%	給与水準が低い 49.7%
3位	給与水準が低い 39.3%	人手不足で 業務量が多い 40.8%	人手不足で 業務量が多い 39.4%	人手不足で 業務量が多い 44.8%
4位	人手不足で 業務量が多い 28.6%	精神的負担が大きい 35.2%	精神的負担が大きい 32.7%	精神的負担が大きい 35.7%
5位	不規則な生活で 体調管理が大変 21.4%	休みを取りづらい 25.4%	不規則な生活で 体調管理が大変 17.8%	休みを取りづらい 17.5%

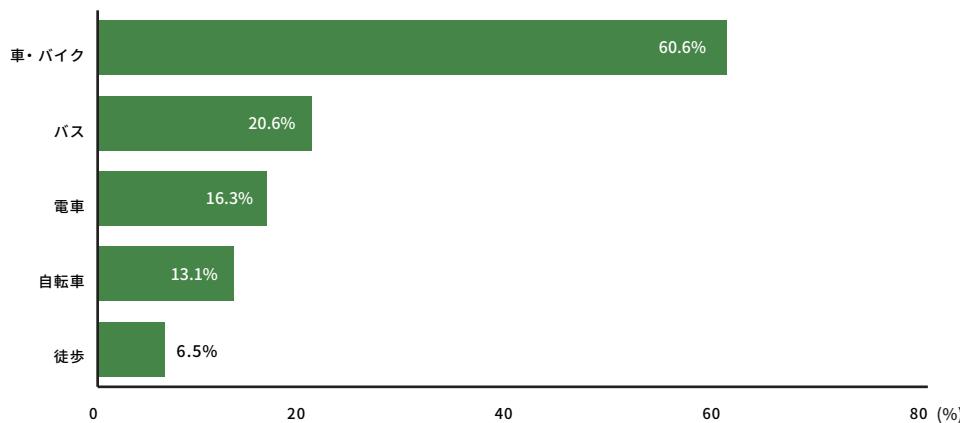
※複数回答 ※5位まで抜粋

02. 現在の仕事について

2-1. 職場までの通勤手段

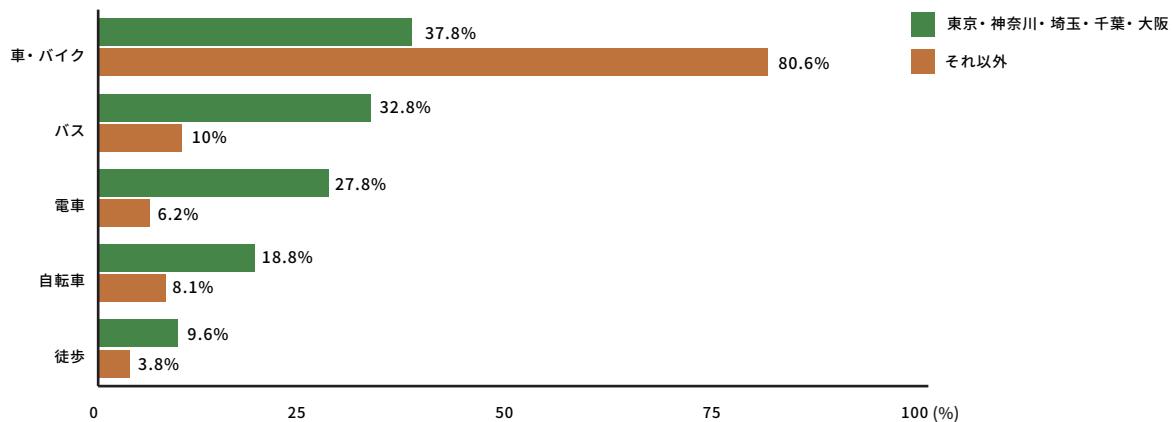
介護職員の職場までの通勤手段は、「車・バイク」が60.6%でもっとも多く、次いで「バス(20.6%)」、「電車(16.3%)」でした。エリア別に見ると、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪の都市部以外では、80.6%が「車・バイク」を利用して出勤していることがわかりました。

(全国) 現在の勤め先への通勤手段



※回答数: 2,141人

(エリア別) 現在の勤め先への通勤手段

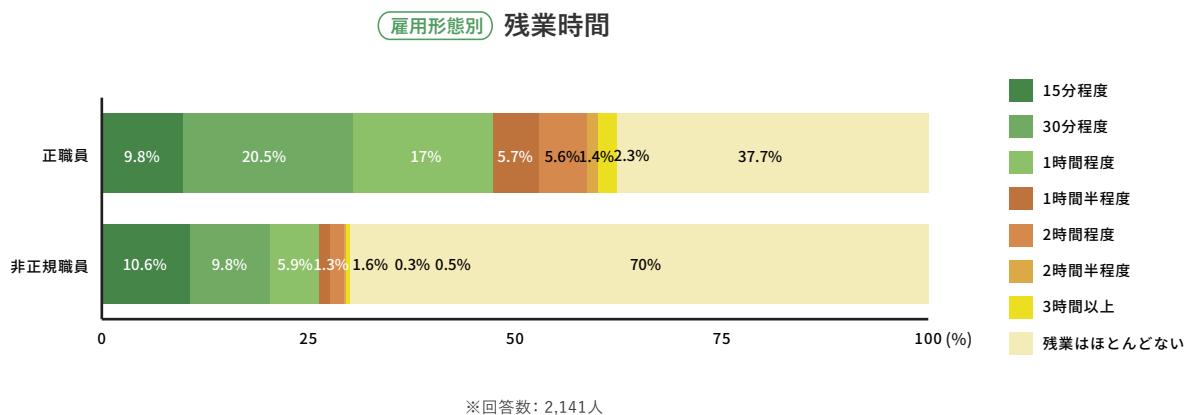


※回答数: 2,141人

介護職員調査

2-2. 毎日の残業の有無とその理由

介護職員の毎日の残業時間について調査した結果、正職員・非正規職員ともに「残業はほとんどない」がもっとも多い回答となりました。（正職員：37.7%、非正規職員：70%）残業がある方の回答では、正職員は「30分程度」、非正規職員は「15分程度」がもっとも多い結果となっています。



毎日の残業の理由については、「人手不足で決められた業務が時間内に終わらないから」が40.6%でもっと多く、「事務作業やレクリエーション企画など勤務時間内にできない業務があるから(20.2%)」「突発的な対応が多いから(17.6%)」という結果となりました。

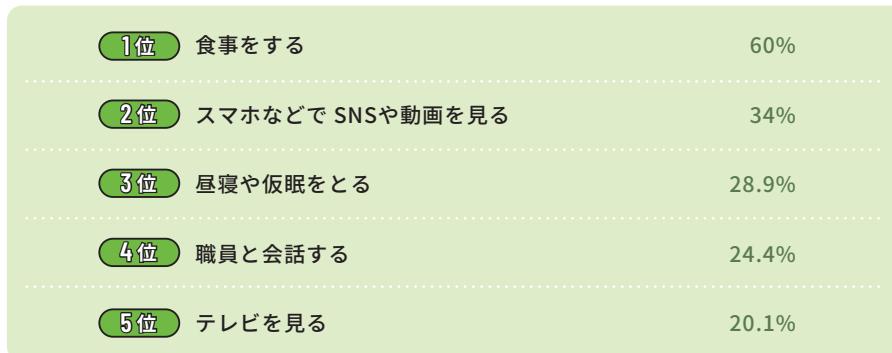
1位	人手不足で決められた業務が時間内に終わらないから	40.6%
2位	事務作業やレクリエーション企画など勤務時間内にできない業務があるから	20.2%
3位	突発的な対応が多いから	17.6%
4位	他の職員のフォローが多いから	6.4%
5位	その他	4.7%

※回答数: 1,086人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

2-3. 休憩時間の過ごし方

介護職員の休憩時間の過ごし方でもっとも多かったのは、「食事をする(60%)」で、「スマホなどでSNSや動画を見る(34%)」「昼寝や仮眠をとる(28.9%)」と続きます。

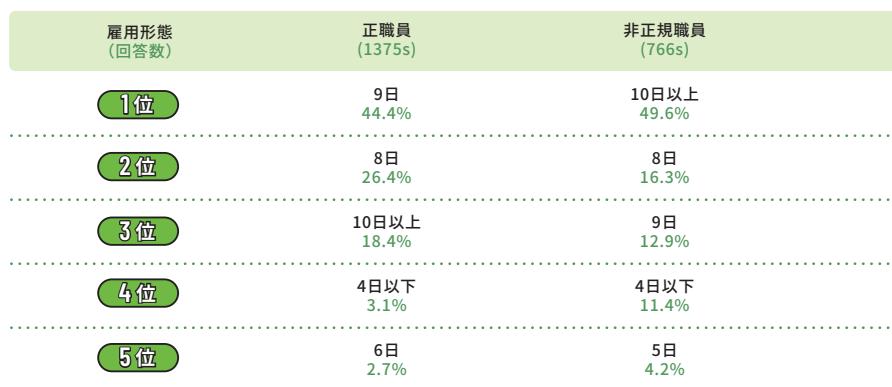


※回答数: 2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

2-4. 毎月の平均休日日数

正職員の毎月の平均休日日数は、「9日」が44.4%でもっとも多く、次いで「8日(26.4%)」「10日以上(18.4%)」という結果となりました。

また、アルバイト・パートや派遣社員を含めた非正規職員の半数は、フルタイムに近い日数で働いているようです。



※5位まで抜粋

介護職員調査

2-5. 直近一年間で取得した有給休暇の日数

直近一年間で取得した有給休暇の日数は、正職員・非正規職員ともに「1日～6日」がもっとも多い結果となりました（正職員：42%、非正規職員：31.1%）。厚生労働省「令和3年就労条件総合調査」によると、日本における全業界の労働者1人あたりの年次有給休暇の平均取得日数は10.1日となっており、介護職員の有給休暇取得日数は他業界よりも少ないと言えるでしょう。

【出典】

厚生労働省「令和3年就労条件総合調査 結果の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/21/index.html>

雇用形態 (回答数)	正職員 (1375s)	非正規職員 (766s)
1位	1日～6日 42%	1日～6日 31.1%
2位	7日～10日 23.4%	取得していない・有給休暇は付与されていない 24.9%
3位	11日～15日 12.6%	7日～10日 21.7%
4位	取得していない・有給休暇は付与されていない 10.4%	11日～15日 12.5%
5位	16日～20日 8.1%	16日～20日 6.3%

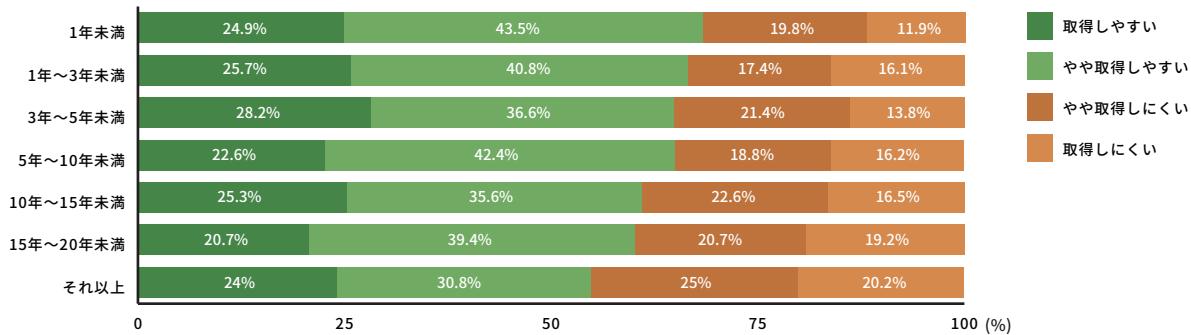
※5位まで抜粋

介護職員調査

2-6. 現在の職場での有給休暇の取りやすさ

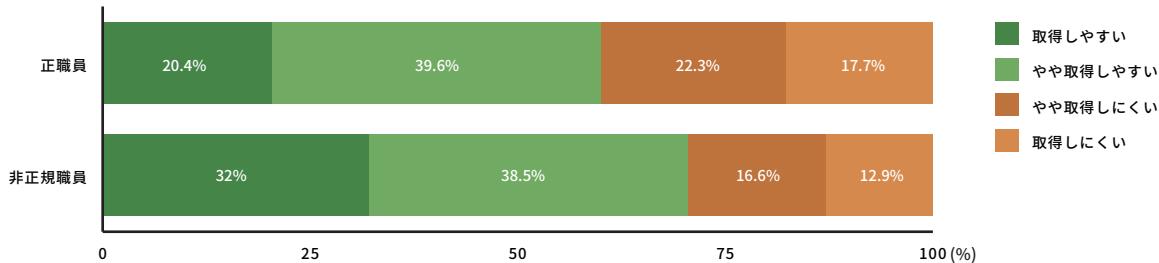
介護職員の有給休暇について、「取得しやすい」と「やや取得しやすい」の結果を合わせると、正職員は60%、非正規職員は70.5%となりました。多くの事業所では、有給休暇はおおむね取りやすい状況のようです。一方で、役職が上がったり勤続年数を重ねると、徐々に「取得しづらい」と感じる職員が増えていくこともわかりました。

(勤続年数別) 有給休暇の取りやすさ



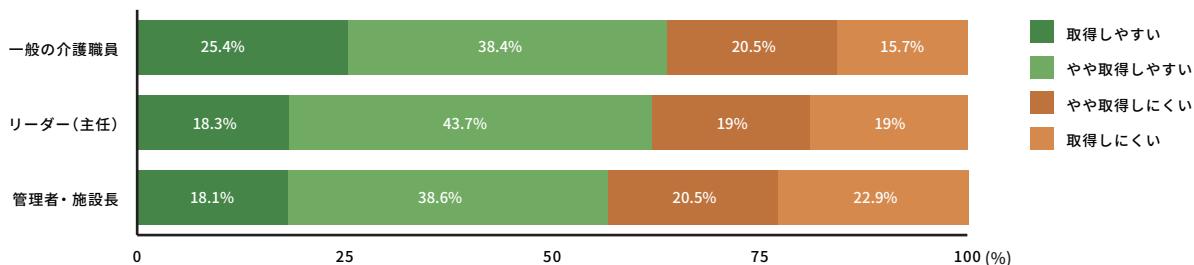
※回答数: 2,141人

(雇用形態別) 有給休暇の取りやすさ



※回答数: 2,141人

(役職別) 有給休暇の取りやすさ



※回答数: 2,141人

介護職員調査

また、有給休暇を取りづらいと感じる理由について調査したところ、「自分が休むと仕事が回らなくなるから(24.2%)」、「休むと周りに申し訳ないと感じるから(20.7%)」、「職場に休むことを言いづらい雰囲気があるから(13%)」という結果になりました。

1位	自分が休むと仕事が回らなくなるから	24.2%
2位	休むと周りに申し訳ないと感じるから	20.7%
3位	職場に休むことを言いづらい雰囲気があるから	13%
4位	その他	12%
5位	上司に許可してもらえないから	8.5%

※回答数：776人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

役職別 有給休暇を取りづらいと感じる理由

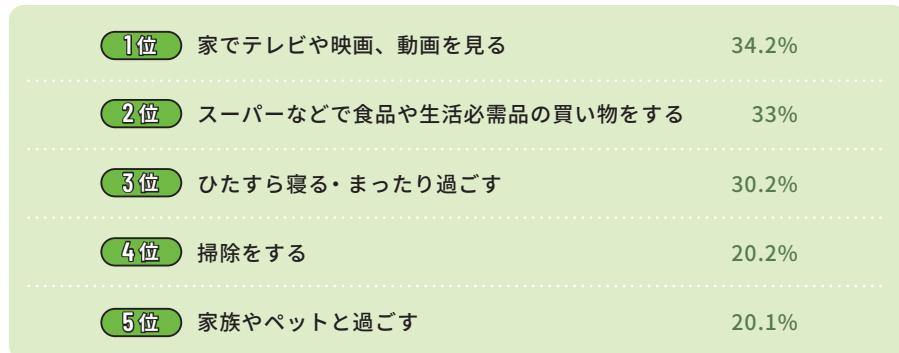
役職 (回答数)	一般の介護職員 (617s)	リーダー(主任) (100s)	管理者・施設長 (36s)
1位	休むと周りに申し訳ないと 感じるから 21.7%	自分が休むと仕事が 回らなくなるから 49%	自分が休むと仕事が 回らなくなるから 52.8%
2位	自分が休むと仕事が 回らなくなるから 18.2%	休むと周りに申し訳ないと 感じるから 18%	休むと周りに申し訳ないと 感じるから 11.1%
3位	職場に休むことを言いづらい 雰囲気があるから 14.4%	職場に休むことを言いづらい 雰囲気があるから 9%	その他 11.1%
4位	その他 12.8%	上司に許可してもらえないから 7%	休みたいと思わないから 8.3%
5位	上司に許可してもらえないから 9.4%	その他 5%	職場に休むことを言いづらい 雰囲気があるから 5.6%

※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

2-7. 普段の休日の過ごし方

介護職員の普段の休日の過ごし方は、「家でテレビや映画、動画を見る」が34.2%でもっとも多く、次いで「スーパーなどで食品や生活必需品の買い物をする(33%)」、「ひたすら寝る・まったり過ごす(30.2%)」という結果となりました。身体的な負担の大きい職業のため、休日はゆっくり過ごしたいという方が多いのかもしれません。ただし、年代別に見ると、40代までは「インターネットやSNSを見る」という回答が多く見られますが、50代以上はインターネットの代わりに「ドライブや旅行に出かける」という方も多いようです。



※回答数: 2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

〔未既婚〕 普段の休日の過ごし方

未既婚 (回答数)	既婚 (1003s)	未婚 (1138s)
1位	家でテレビや映画、動画を見る 36.5%	ひたすら寝る・まったり過ごす 38.1%
2位	スーパーなどで食品や生活必需品の買い物をする 35.5%	家でテレビや映画、動画を見る 32.2%
3位	家族やペットと過ごす 29.5%	スーパーなどで食品や生活必需品の買い物をする 30.8%
4位	掃除をする 23.3%	インターネットやSNSを見る 19.4%
5位	ひたすら寝る・まったり過ごす 21.2%	掃除をする 17.5%

※複数回答 ※5位まで抜粋

〔年代別〕 普段の休日の過ごし方

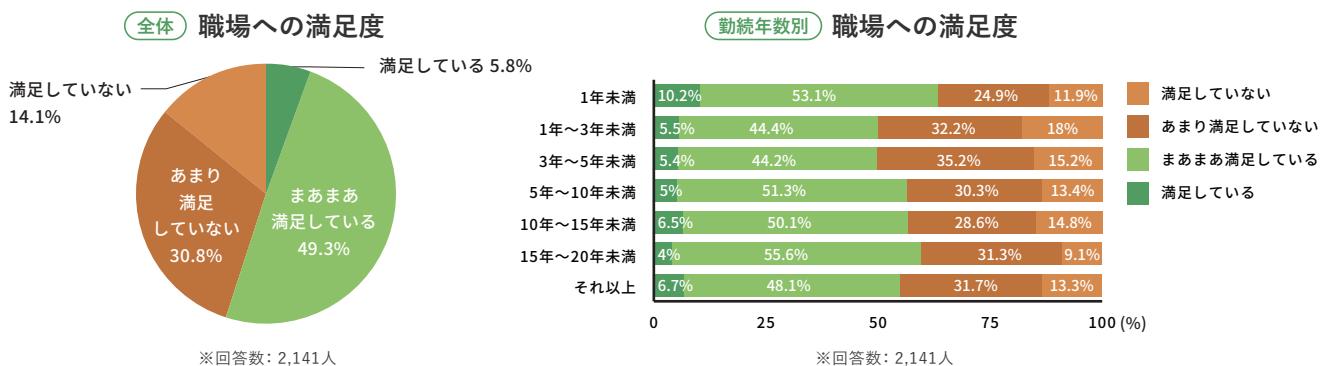
年代 (回答数)	20代 (205s)	30代 (519s)	40代 (530s)	50代 (542s)	60代 (345s)
1位	ひたすら寝る・ まったり過ごす 31.2%	家でテレビや映画、 動画を見る 32.4%	ひたすら寝る・ まったり過ごす 34.7%	家でテレビや映画、 動画を見る 37.6%	家でテレビや映画、 動画を見る 40.9%
2位	スーパーなどで食品や 生活必需品の買い物をする 24.9%	ひたすら寝る・ まったり過ごす 31.8%	スーパーなどで食品や 生活必需品の買い物をする 33.4%	スーパーなどで食品や 生活必需品の買い物をする 33.2%	スーパーなどで食品や 生活必需品の買い物をする 40.3%
3位	友人や恋人と過ごす 23.9%	スーパーなどで食品や 生活必需品の買い物をする 30.6%	家でテレビや映画、 動画を見る 32.6%	ひたすら寝る・ まったり過ごす 29.5%	掃除をする 26.1%
4位	家でテレビや映画、 動画を見る 22.9%	家族やペットと過ごす 27.6%	家族やペットと過ごす 20.9%	掃除をする 23.1%	ひたすら寝る・ まったり過ごす 21.4%
5位	インターネットや SNSを見る 21.5%	掃除をする 17.7%	インターネットや SNSを見る 19.8%	ドライブや 旅行に出かける 19.7%	ドライブや 旅行に出かける 16.5%

※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

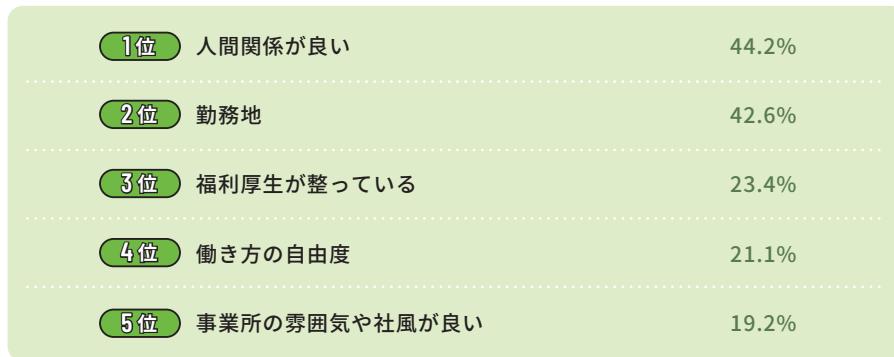
2-8. 現在の職場の満足度

現在の職場への満足度は、「まあまあ満足している」が49.3%でもっとも多く、次いで「あまり満足していない(30.8%)」「満足していない(14.1%)」という結果となりました。極端な感情は抱いていないものの、「満足している」とは言い切れない方が多いということがわかります。また、勤続年数別で見ると、入職後1年未満は入職したばかりで満足度が高く、「あまり満足していない」「満足していない」が40%弱ですが、1年～3年未満、3年～5年未満では50%を越えています。職場に慣れてくると、少し嫌な部分が見えてきてしまうという方が多いかもしれません。



現在の職場に満足している理由は、「人間関係が良い」が44.2%でもっと多く、次いで「勤務地(42.7%)」「福利厚生が整っている(23.4%)」でした。

勤続年数別で見ると、入職後1年未満では上位5位に入っていない「働き方の自由度」「休日や休暇が多い」が1年～3年未満になると4位、5位に急上昇しています。



※回答数: 1,180人、※複数回答、※5位まで抜粋

勤続年数別 職場に満足している理由

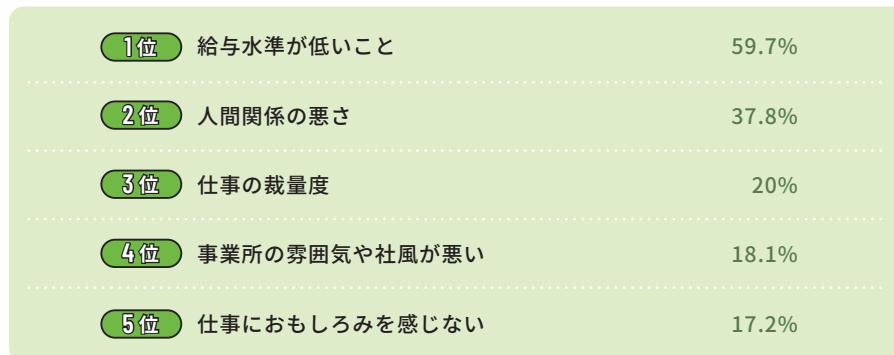
勤続年数 (回答数)	1年未満 (112s)	1年～3年未満 (155s)	3年～10年未満 (512s)	10年～ (401s)
1位	勤務地 41.1%	人間関係が良い 46.5%	人間関係が良い 45.9%	勤務地 45.6%
2位	人間関係が良い 33.9%	勤務地 42.6%	勤務地 40.6%	人間関係が良い 44.1%
3位	福利厚生が整っている 21.4%	福利厚生が整っている 24.5%	福利厚生が整っている 22.7%	福利厚生が整っている 24.4%
4位	事業所の雰囲気や社風が良い 20.5%	働き方の自由度 19.4%	働き方の自由度 20.7%	働き方の自由度 23.9%
5位	雇用形態 20.5%	休日や休暇が多い 18.7%	事業所の雰囲気や社風が良い 19.9%	事業所の雰囲気や社風が良い 18.7%

※複数回答、※5位まで抜粋

介護職員調査

また、現在の職場に満足していない理由は、「給与水準が低いこと」が59.7%でもっとも多く、次いで「人間関係の悪さ(37.8%)」「仕事の裁量度(20.0%)」でした。

勤続年数別で見ると、入職後3年未満までは上位5位に入っていない「仕事の裁量度」が3年～5年未満以降は上位にランクインしました。勤続年数を重ねるほど、仕事や職場に対する価値観が変化していくことがわかります。



※回答数：961人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

(勤続年数別) 職場に満足していない理由

勤続年数 (回答数)	1年未満 (65s)	1年～3年未満 (156s)	3年～10年未満 (440s)	10年～ (300s)
1位	給与水準が低いこと 49.2%	給与水準が低いこと 50.6%	給与水準が低いこと 59.5%	給与水準が低いこと 67%
2位	人間関係の悪さ 41.5%	人間関係の悪さ 39.1%	人間関係の悪さ 37.5%	人間関係の悪さ 36.7%
3位	成長しにくい環境 27.7%	事業所の雰囲気や社風が悪い 25.6%	仕事の裁量度 22.7%	評価制度に不満がある 21%
4位	事業所の雰囲気や社風が悪い 20%	仕事におもしろみを感じない 20.5%	仕事におもしろみを感じない 17.3%	仕事の裁量度 20.7%
5位	仕事におもしろみを感じない 13.8%	成長しにくい環境 16%	評価制度に不満がある 16.6%	休日休暇日数 18.7%

※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

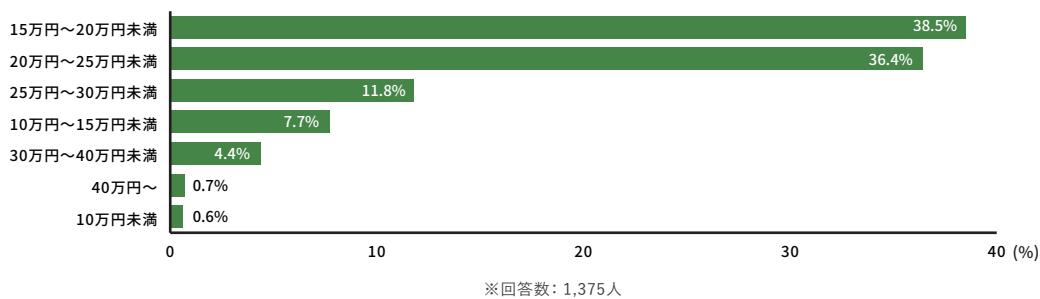
03. 現在の収入について

3-1. 正職員の手取りの月給

正職員の手取りの月給は、「15万円～20万円未満」が38.5%ともっとも多く、次いで「20万円～25万円未満(36.4%)」、「25万円～30万円未満(11.8%)」と続きます。また、勤続年数別で見ると、年数を重ねるほど月給が増えていく傾向にあることがわかりました。

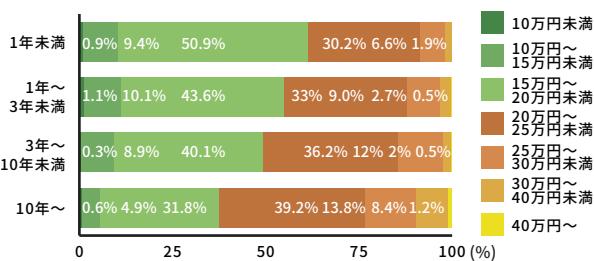
役職別では、リーダー（主任）と管理者・施設長の手取りの月給は「20万円～25万円未満」がもっとも多く、管理者・施設長になると、半数ほどが25万円以上の月収になるようです。

正職員の手取りの月給



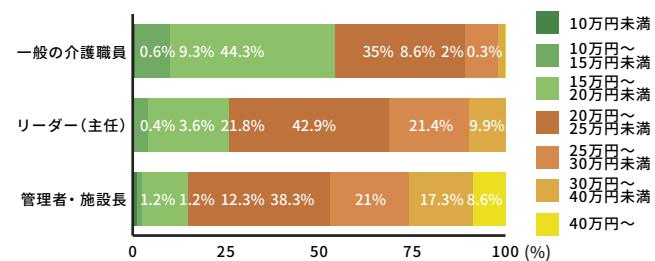
※回答数: 1,375人

勤続年数別 正職員の手取りの月給



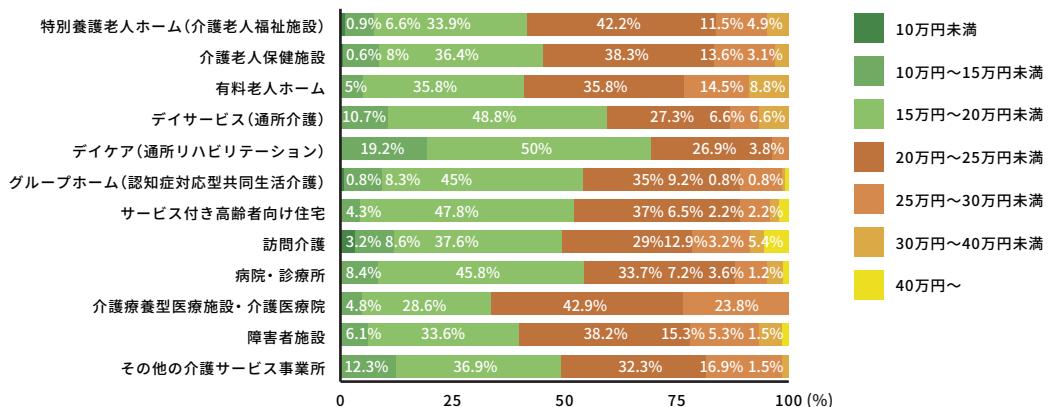
※回答数: 1,375人

役職別 正職員の手取りの月給



※回答数: 1,375人

介護サービス別 正職員の手取りの月給



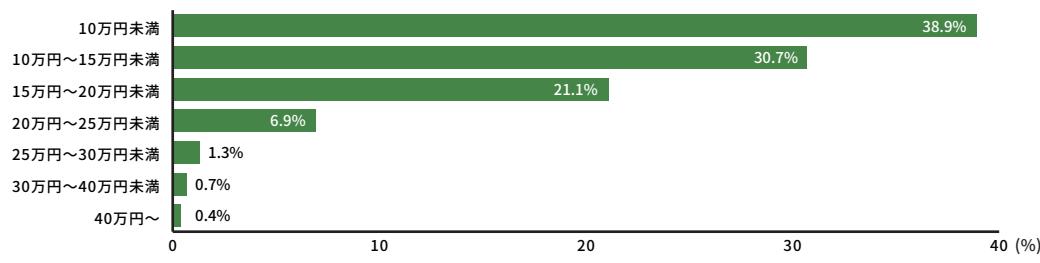
※回答数: 1,375人

介護職員調査

3-2. 非正規職員の手取りの月給

非正規正職員の手取りの月給は、「10万円未満」が38.9%でもっとも多く、次いで「10万円～15万円未満(30.7%)」、「15万円～20万円未満(21.1%)」と続きます。また、介護職歴や勤続年数で見ると、時間と月収の金額は比例しない傾向にあるようです。

非正規職員の手取りの月給



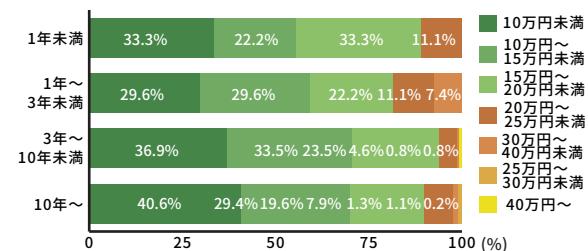
※回答数: 766人

(勤続年数別) 非正規職員の手取りの月給



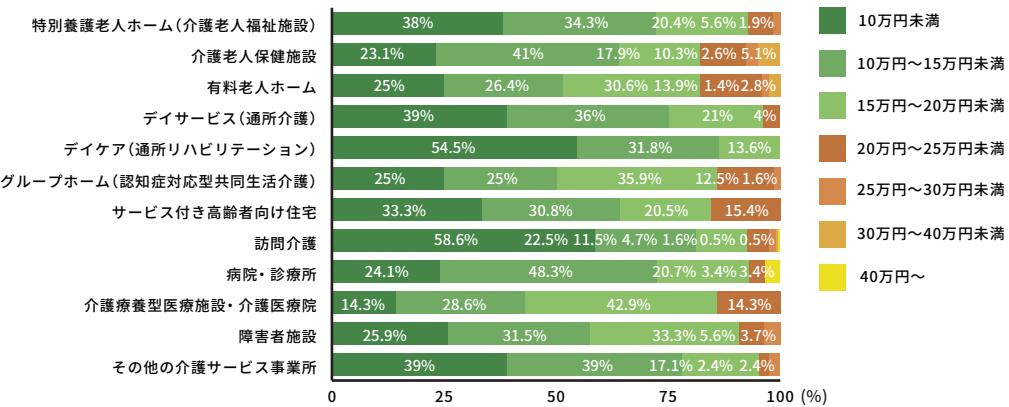
※回答数: 766人

(経験年数別) 非正規職員の手取りの月給



※回答数: 766人

(介護サービス別) 非正規職員の手取りの月給



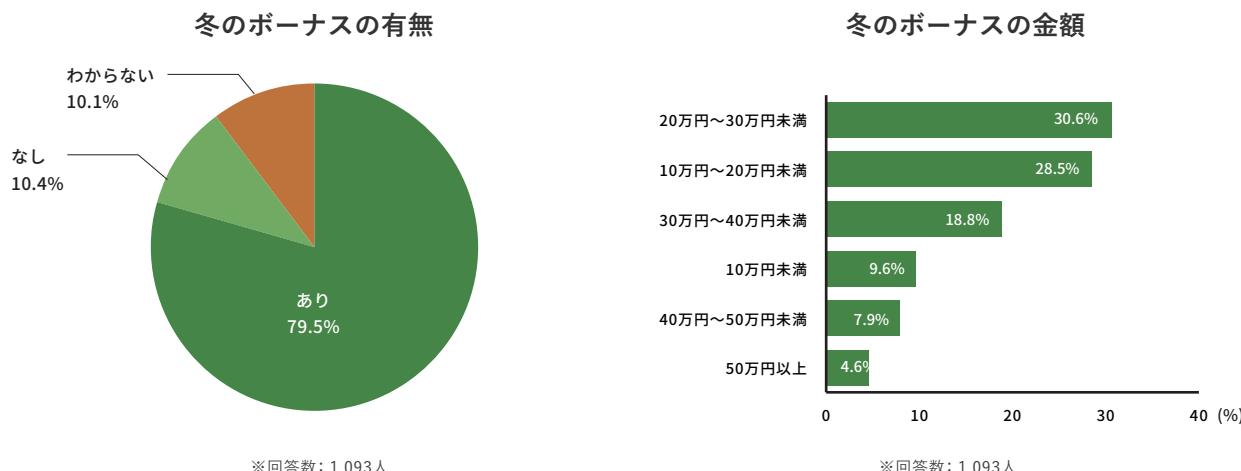
※回答数: 766人

介護職員調査

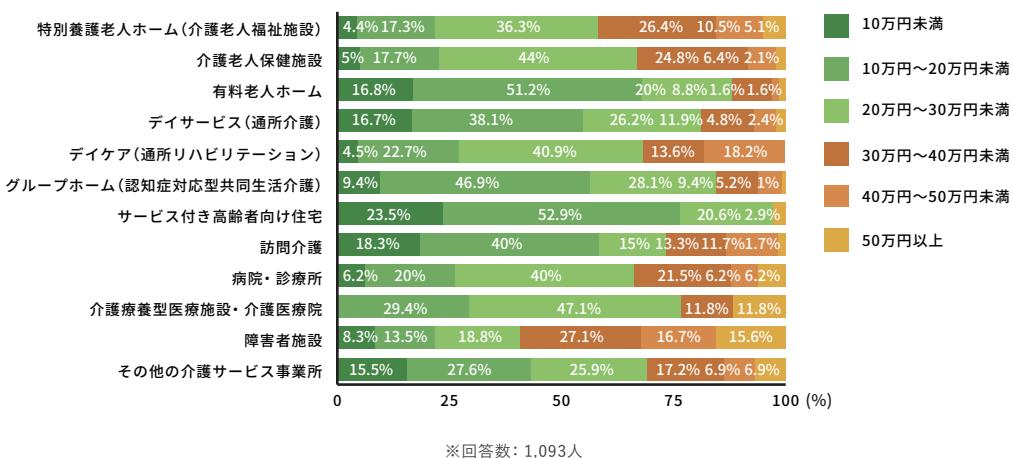
3-3. 正職員のボーナス（賞与）の有無

今回調査した正職員のうち、ボーナスが支給されたのは冬と夏いずれも8割程度でした。また、支給されたボーナスの金額は、冬（2021年10月～2022年3月）が「20万円～30万円未満（30.6%）」、夏（2022年4月～2022年9月）が「10万円～20万円未満（33.5%）」がもっとも多いという結果となりました。

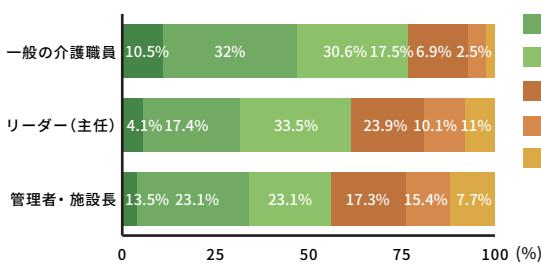
前回の冬（2021年10月～2022年3月）のボーナス



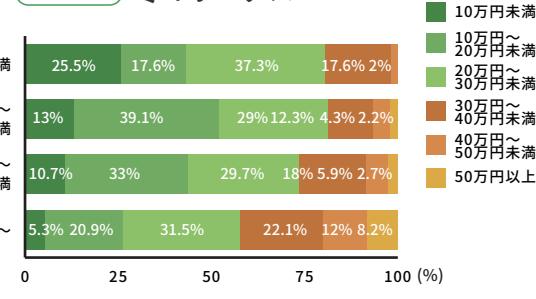
介護サービス別 冬のボーナス



役職別 冬のボーナス



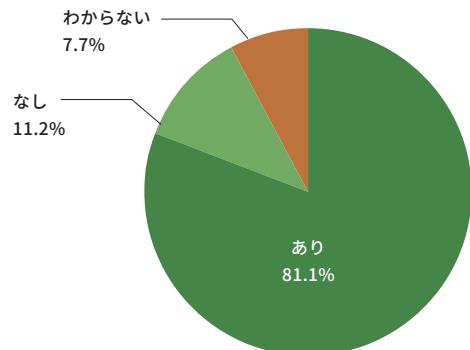
勤続年数別 冬のボーナス



介護職員調査

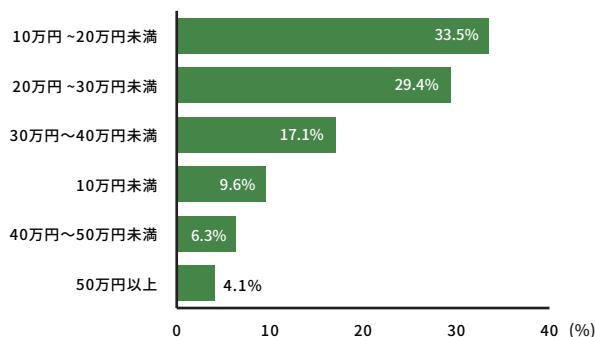
前回の夏(2022年4月～2022年9月)のボーナス

夏のボーナスの有無



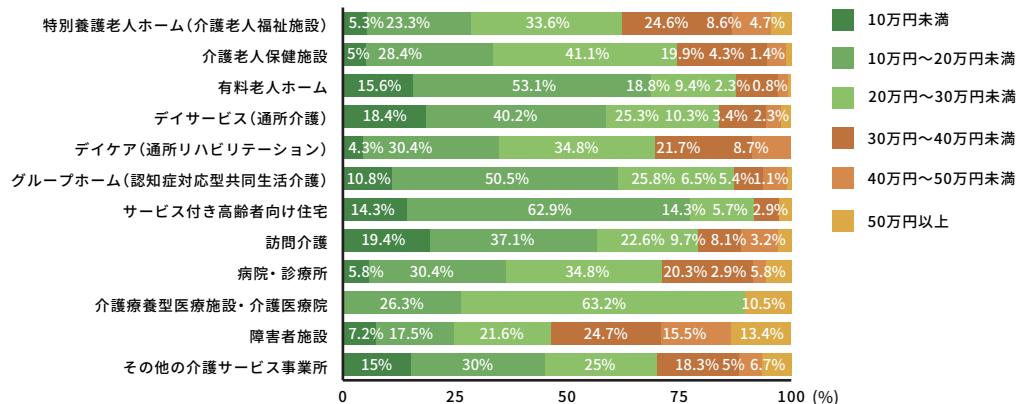
※回答数: 1,093人

夏のボーナスの金額



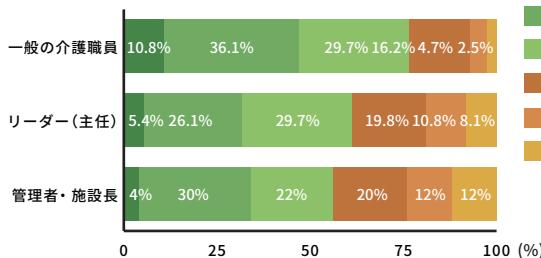
※回答数: 1,093人

(介護サービス別) 夏のボーナス



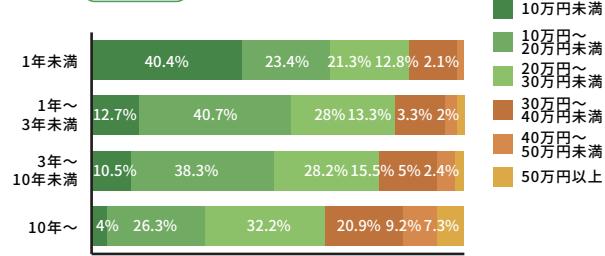
※回答数: 1,093人

(役職別) 夏のボーナス



※回答数: 1,093人

(勤続年数別) 夏のボーナス



※回答数: 1,093人

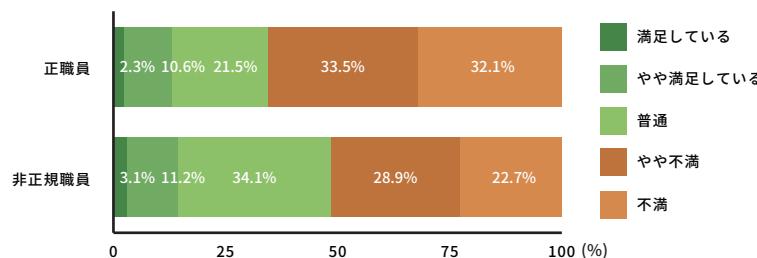
介護職員調査

3-4. 現在の収入の満足度

正職員の現在の収入の満足度は、「やや不満」が33.5%でもっとも多く、次いで「不満」が32.1%でした。一方、非正規職員は「普通」が34.1%でもっと多く、次いで「やや不満」が28.9%でした。正職員よりも非正規職員の方が、収入の納得感が比較的高いようです。介護サービス別に見ると、デイケアと病院・診療所の職員の収入の満足度が低いことがわかります。どちらもボーナスが高い傾向にあるものの、月々の収入が不満の要因となっているようです。

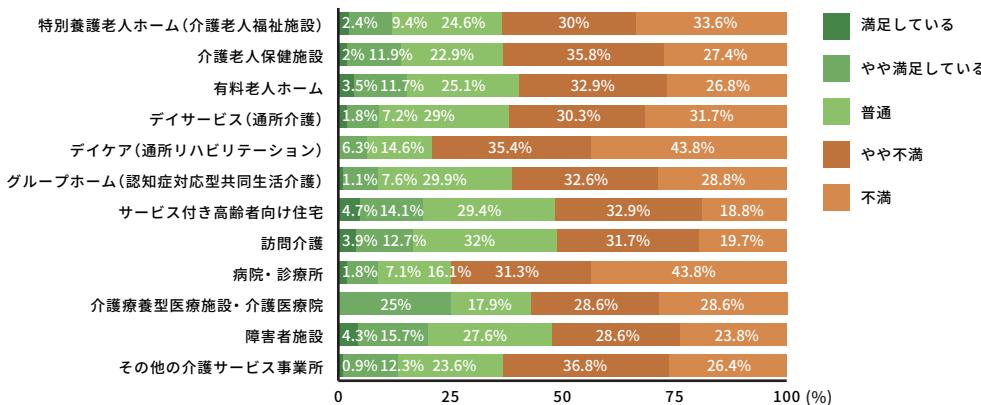
※参照 3-1. 正職員の手取りの月給、3-2. 非正規職員の手取りの月給、3-3. 正職員のボーナス（賞与）の有無

雇用形態別 収入の満足度



※回答数: 2,141人

介護サービス別 収入の満足度



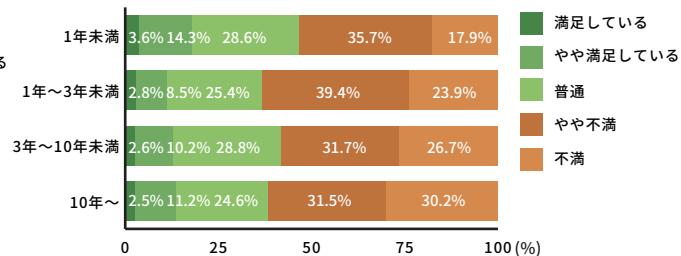
※回答数: 2,141人

役職別 収入の満足度



※回答数: 2,141人

経験年数別 収入の満足度



※回答数: 2,141人

介護職員調査

収入に関して「やや不満」「不満」と感じる方に「あとどれくらい月給が上がれば満足するか」について調査した結果、「3万円～5万円未満」が36.8%でもっとも多く、次いで「5万円～7万円未満(25.7%)」「1万円～3万円未満(13.4%)」となりました。

1位	3万円～5万円未満	36.8%
2位	5万円～7万円未満	25.7%
3位	1万円～3万円未満	13.4%
4位	10万円以上	13.3%
5位	7万円～10万円未満	10.3%

※回答数: 1,297人 ※5位まで抜粋

(役職別) 月給があとどのくらい上がれば満足するか

役職 (回答数)	一般の介護職員 (1032s)	リーダー(主任) (163s)	管理者・施設長 (48s)
1位	3万円～5万円未満 38.9%	5万円～7万円未満 35%	5万円～7万円未満 37.5%
2位	5万円～7万円未満 23.9%	3万円～5万円未満 28.2%	10万円以上 27.1%
3位	1万円～3万円未満 14.4%	7万円～10万円未満 14.1%	3万円～5万円未満 20.8%
4位	10万円以上 12.4%	10万円以上 14.1%	7万円～10万円未満 10.4%
5位	7万円～10万円未満 9.8%	1万円～3万円未満 8.6%	1万円～3万円未満 4.2%

※回答数: 1,297人 ※5位まで抜粋

(経験年数別) 月給があとどのくらい上がれば満足するか

勤続年数 (回答数)	1年未満 (15s)	1年～3年未満 (45s)	3年～10年未満 (400s)	10年～ (837s)
1位	3万円～5万円未満 40%	3万円～5万円未満 31.1%	3万円～5万円未満 44.5%	3万円～5万円未満 33.3%
2位	1万円～3万円未満 20%	1万円～3万円未満 24.4%	5万円～7万円未満 22.8%	5万円～7万円未満 27.5%
3位	5万円～7万円未満 13.3%	5万円～7万円未満 22.2%	1万円～3万円未満 15%	10万円以上 14.9%
4位	7万円～10万円未満 13.3%	7万円～10万円未満 11.1%	10万円以上 10.5%	1万円～3万円未満 11.9%
5位	10万円以上 13.3%	10万円以上 8.9%	7万円～10万円未満 7%	7万円～10万円未満 11.8%

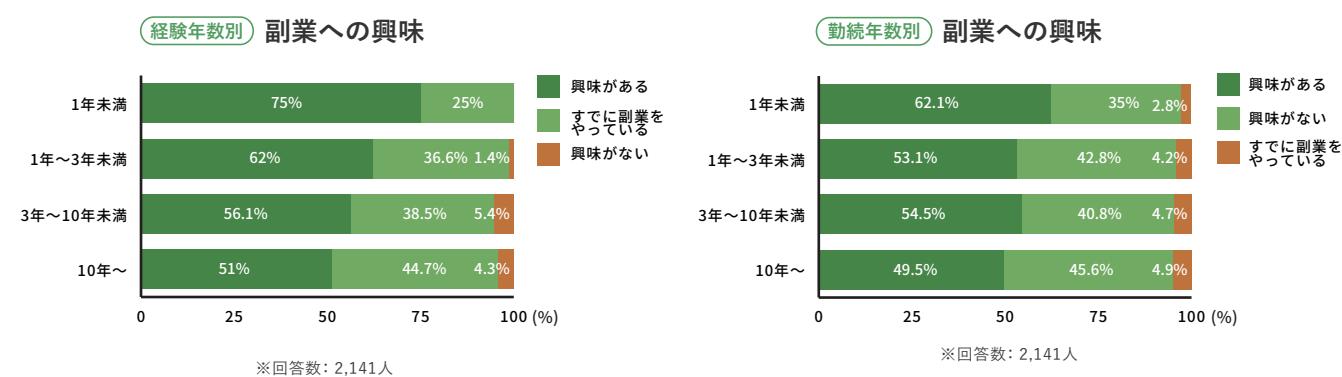
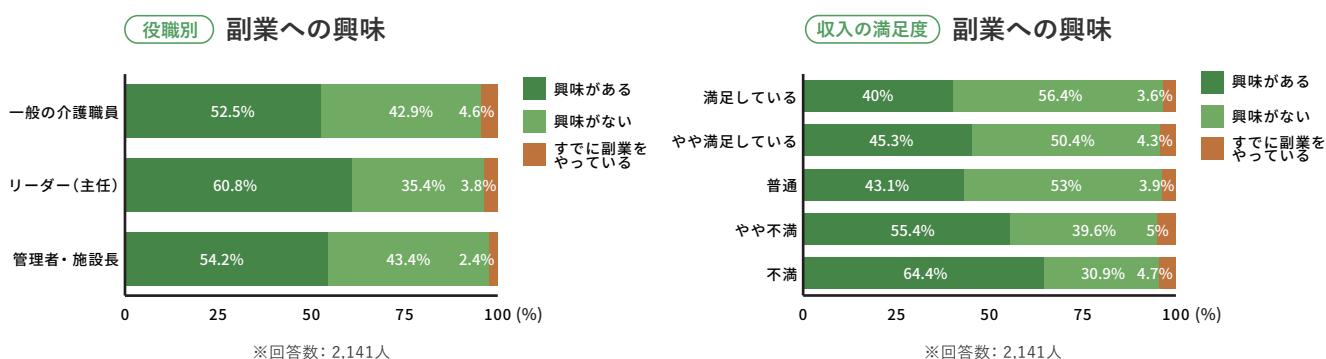
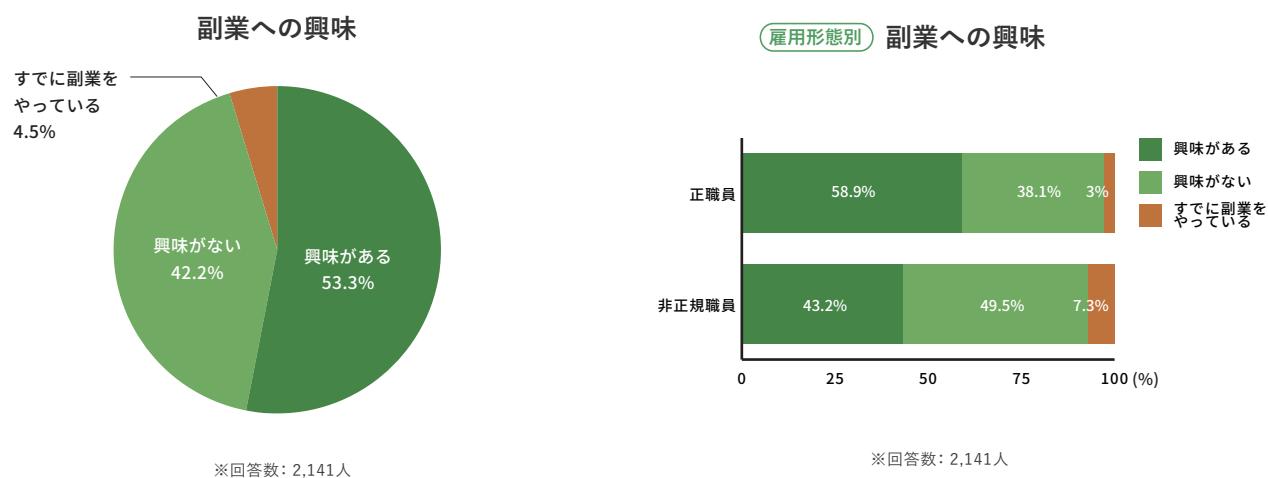
※回答数: 1,297人 ※5位まで抜粋

介護職員調査

3-5. 副業への興味

介護職員の副業への興味について調査した結果、過半数の53.3%が「興味がある」と回答しました。雇用形態別で見ると、約60%の正職員が副業への興味があると回答しています。「3-4. 現在の収入の満足度」で調査した収入の満足度別で見ると、不満度が増すほど副業への興味は増えていることがわかります。ただし、収入に満足している方でも40%前後は副業に興味があるようです。

また、経験年数別および勤続年数別で見ると、年数を重ねるほど副業への興味は薄れていくこともわかりました。

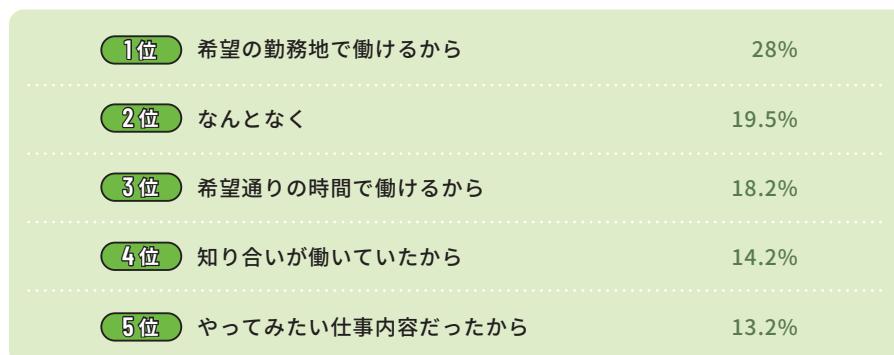


介護職員調査

04. 介護職員の就職・転職について

4-1. 現在の職場に就職・転職した理由

現在の職場に就職・転職した理由は、「希望の勤務地で働くから」が28%でもっと多く、次いで「なんとなく(19.5%)」「希望通りの時間で働くから(18.2%)」となりました。経験年数別で見ると、3年未満の方は勤務地や給与、福利厚生、休日などの条件面が決め手となった方が多いのに対し、長期間働いている方は「なんとなく」という回答も多く見られました。しかし、「2-8. 現在の職場の満足度」で調査した職場への満足度別に見ると、「なんとなく」を選んだ方は職場への不満度が高い傾向にあるようです。



※回答数: 2,141 ※複数回答 ※5位まで抜粋

(雇用形態別) 現在の職場に就職・転職した理由

役職 (回答数)	正職員 (1375s)	非正規職員 (766s)
1位	希望の勤務地で働くから 25.8%	希望通りの時間で働くから 34.5%
2位	なんとなく 20.8%	希望の勤務地で働くから 32%
3位	知り合いが働いていたから 13.5%	なんとなく 17.1%
4位	やってみたい仕事内容だったから 12.9%	休日が多い・希望通りに休めるから 16.8%
5位	福利厚生が充実しているから 11.5%	知り合いが働いていたから 15.5%

※複数回答 ※5位まで抜粋

(職場の満足度別) 現在の職場に就職・転職した理由

満足度 (回答数)	満足している/まあまあ満足している (1180s)	あまり満足していない/満足していない (961s)
1位	希望の勤務地で働くから 32.5%	なんとなく 23.1%
2位	希望通りの時間で働くから 23.3%	希望の勤務地で働くから 22.5%
3位	なんとなく 16.5%	知り合いが働いていたから 13.5%
4位	休日が多い・希望通りに休めるから 16%	希望通りの時間で働くから 12%
5位	やってみたい仕事内容だったから 15.8%	その他 11.1%

※複数回答 ※5位まで抜粋

(経験年数別) 現在の職場に就職・転職した理由

勤続年数 (回答数)	1年未満 (28s)	1年～3年未満 (71s)	3年～10年未満 (685s)	10年～ (1357s)
1位	希望の勤務地で働くから 28.6%	希望の勤務地で働くから 31%	希望の勤務地で働くから 27.9%	希望の勤務地で働くから 27.9%
2位	希望の給与・年収で働くから 17.9%	やってみたい仕事内容だったから 18.3%	なんとなく 20.3%	なんとなく 19.5%
2位	休日が多い・希望通りに休めるから 17.9%	福利厚生が充実しているから 12.7%	希望通りの時間で働くから 18.4%	希望通りの時間で働くから 18.7%
2位	なんとなく 17.9%	なんとなく 11.3%	やってみたい仕事内容だったから 14.3%	知り合いが働いていたから 14.9%
5位	希望通りの時間で働くから 14.3%	その他 11.3%	知り合いが働いていたから 13.7%	休日が多い・希望通りに休めるから 13.3%

※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

4-2. 異業界での就職経験の有無

介護職員以外で正社員として働いたことのある仕事について調査した結果、「介護職員以外で正社員として働いた経験はない」が27.9%でもっとも多く、次いで「事務(22.1%)」、「販売・飲食・サービス(18.1%)」となりました。役職別に見ると、一般的な介護職員やリーダー(主任)は介護職以外の仕事に就いた経験がない方が多く、管理人・施設長は「営業」経験者が多い(29.7%)ようです。一般企業で勤めた経験は、介護サービスの運営でも活かせる場面が多いことがうかがえます。

1位	介護職員以外で正社員として働いた経験はない	27.9%
2位	事務	22.1%
3位	販売・飲食・サービス	18.1%
4位	営業	16.4%
5位	工場・製造	12.4%

※回答数: 1,652人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

(役職別) 介護職員以外で正社員として働いたことのある職種

役職 (回答数)	一般の介護職員 (1332s)	リーダー(主任) (182s)	管理者・施設長 (74s)
1位	介護職員以外で正社員として働いた経験はない 28.4%	介護職員以外で正社員として働いた経験はない 26.4%	営業 29.7%
2位	事務 23.4%	販売・飲食・サービス 23.6%	介護職員以外で正社員として働いた経験はない 20.3%
3位	販売・飲食・サービス 18%	営業 20.9%	事務 13.5%
4位	営業 15.2%	事務 16.5%	販売・飲食・サービス 12.2%
5位	工場・製造 12.7%	工場・製造 13.2%	企画管理 10.8%

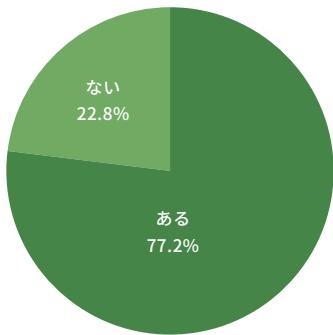
※回答数: 1,588人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

4-3. 介護職員としての転職経験の有無

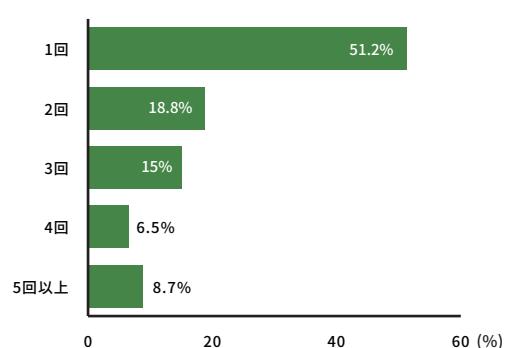
転職経験の有無について、約7割の介護職員が転職経験があると回答しました。

転職経験の有無



※回答数: 2,141人

介護職員としての転職回数



※回答数: 2,141人

4-4. 介護職員として転職をした理由

介護職員として2回以上転職したことがある方の転職理由は、「職場の人間関係が悪かった」が29.8%でもっと多く、「給与が低かった(16.3%)」、「仕事内容への不満があった(14.7%)」と続きます。

1位 職場の人間関係が悪かった 29.8%

2位 給与が低かった 16.3%

3位 仕事内容への不満があった 14.7%

4位 労働条件が悪かった 14.5%

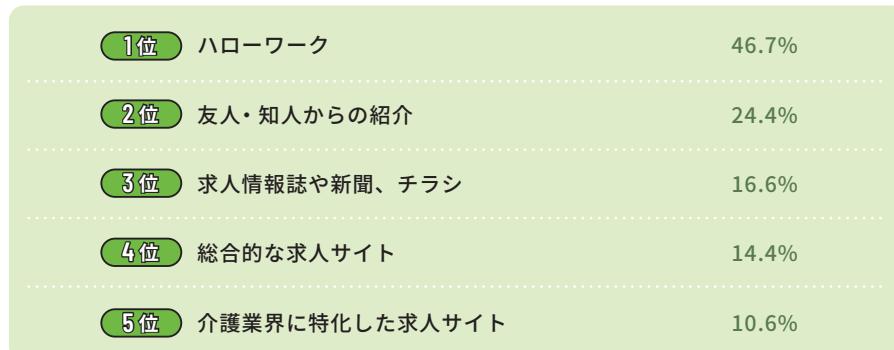
5位 上司と馬が合わなかった 13.7%

※回答数: 808人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

介護職員調査

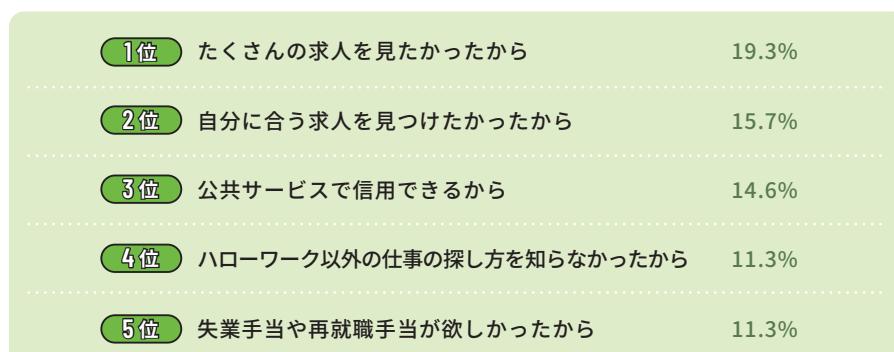
4-5. 就職先探しで利用していた（している）もの

就職・転職活動で活用した（している）手段は、「ハローワーク」が46.7%でもっとも多く、次いで「友人・知人からの紹介（24.4%）」「求人情報誌や新聞、チラシ（16.6%）」となりました。



※回答数: 2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

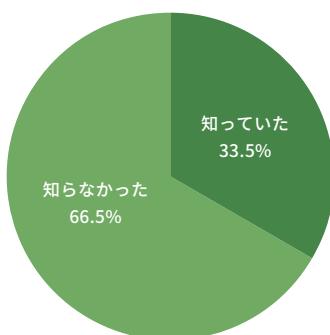
ハローワークを利用する理由は、「たくさんの求人を見たかったから（19.3%）」がもっとも多く、「自分に合う求人を見つけたかったから（15.7%）」「公共サービスで信用できるから（14.6%）」と続きます。



※回答数: 999人

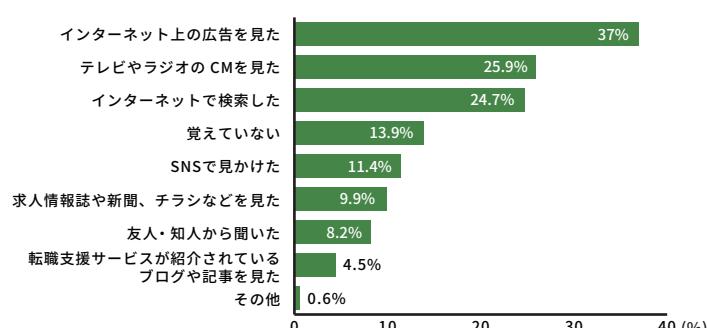
きらケアのような、介護業界に特化した民間の転職支援サービスについて存在を認知していたか調査した結果、66.5%が「知らなかった」と回答しました。また、「知っていた」と回答した方に、サービスを認知した経緯について調査した結果、「インターネット上の広告を見た」が37%がもっと多く、次いで「テレビやラジオのCMを見た（25.9%）」「インターネットで検索した（24.7%）」と続きます。

介護業界専門の転職支援サービスの存在を知ってたか



※回答数: 2,141人

転職支援サービスを知った経緯



※回答数: 2,141人

介護職員調査

4-6. 仕事に求めるもの・価値観

介護職員が仕事に求めるもの・価値観は、「人間関係を大切に働けること」が41.5%でもっとも多く、「生活に必要な収入が得られること(37.8%)」「プライベートを大切にできること(36.8%)」と続きます。転職回数別で見ると、転職回数が4回を越えると職場の人間関係よりも収入を重視するようになる傾向があることがわかりました。また、年代別で見ると、年齢を重ねるごとに「楽しく仕事ができること」を選択する方が増えていく一方で、「プライベートを大切にできること」が減少していくのも特徴的です。

1位	人間関係を大切に働けること	41.5%
2位	生活に必要な収入が得られること	37.8%
3位	プライベートを大切にできること	36.8%
4位	楽しく仕事ができること	32.9%
5位	自分らしい生活が送れること	31.7%

※回答数: 2,141人 ※5位まで抜粋

(転職回数別) 仕事に求めるもの・価値観

	1回 (845s)	2回 (310s)	3回 (247s)	4回 (107s)	5回以上 (143s)
1位	人間関係を大切に働けること 40.9%	人間関係を大切に働けること 47.4%	人間関係を大切に働けること 42.9%	生活に必要な収入が得られること 35.5%	生活に必要な収入が得られること 39.9%
2位	生活に必要な収入が得られること 40.7%	生活に必要な収入が得られること 35.8%	生活に必要な収入が得られること 38.1%	人間関係を大切に働けること 34.6%	プライベートを大切にできること 39.2%
3位	プライベートを大切にできること 38.6%	プライベートを大切にできること 34.8%	プライベートを大切にできること 37.7%	楽しく仕事ができること 31.8%	自分らしい生活が送れること 37.8%
4位	自分らしい生活が送れること 33.1%	自分らしい生活が送れること 29.7%	楽しく仕事ができること 35.6%	プライベートを大切にできること 29%	人間関係を大切に働けること 35%
5位	楽しく仕事ができること 32.8%	楽しく仕事ができること 29.7%	自分らしい生活が送れること 30.8%	自分らしい生活が送れること 26.2%	楽しく仕事ができること 33.6%

※回答数: 1,608人

(年代別) 仕事に求めるもの・価値観

	20代 (205s)	30代 (519s)	40代 (530s)	50代 (542s)	60代 (345s)
1位	人間関係を大切に働けること 40%	プライベートを大切にできること 47.6%	人間関係を大切に働けること 43.2%	人間関係を大切に働けること 40.6%	人間関係を大切に働けること 40.9%
2位	プライベートを大切にできること 36.6%	人間関係を大切に働けること 41.6%	プライベートを大切にできること 40.6%	生活に必要な収入が得られること 39.3%	やりがいや誇りを持って働けること 34.5%
3位	生活に必要な収入が得られること 33.7%	生活に必要な収入が得られること 38.5%	生活に必要な収入が得られること 40.6%	楽しく仕事ができること 36.5%	生活に必要な収入が得られること 32.5%
4位	自分らしい生活が送れること 27.8%	自分らしい生活が送れること 32.2%	楽しく仕事ができること 35.3%	自分らしい生活が送れること 33.8%	楽しく仕事ができること 30.4%
5位	やりがいや誇りを持って働けること 27.8%	楽しく仕事ができること 31%	自分らしい生活が送れること 32.5%	プライベートを大切にできること 30.3%	自分らしい生活が送れること 28.7%

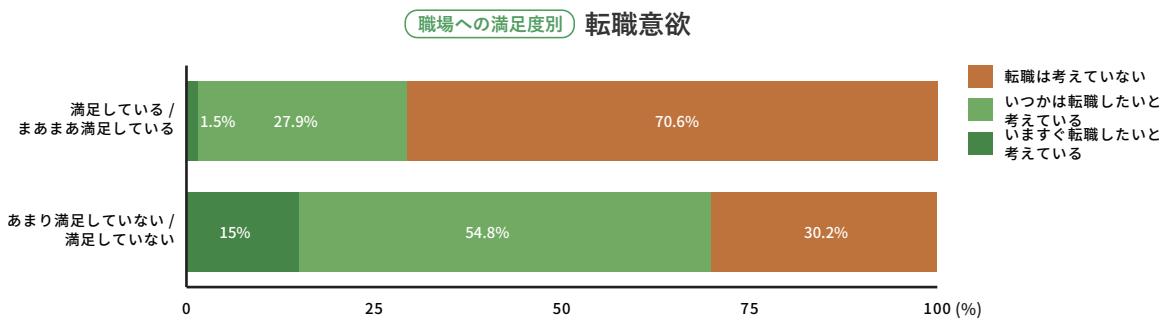
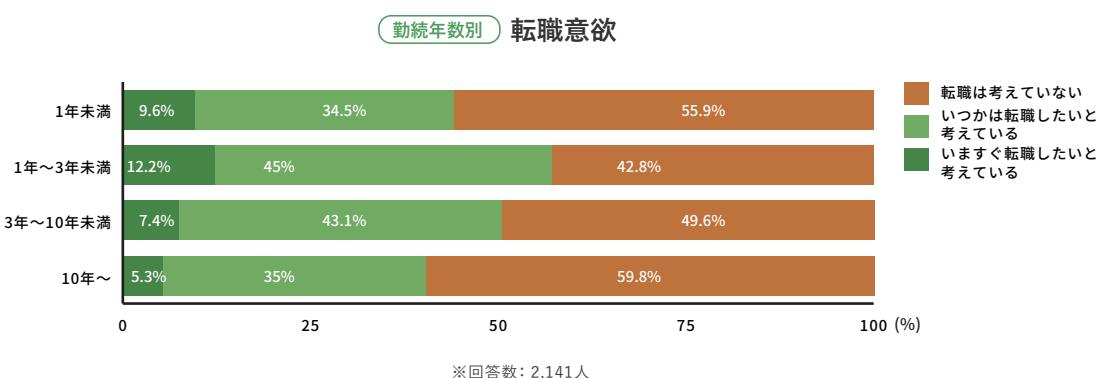
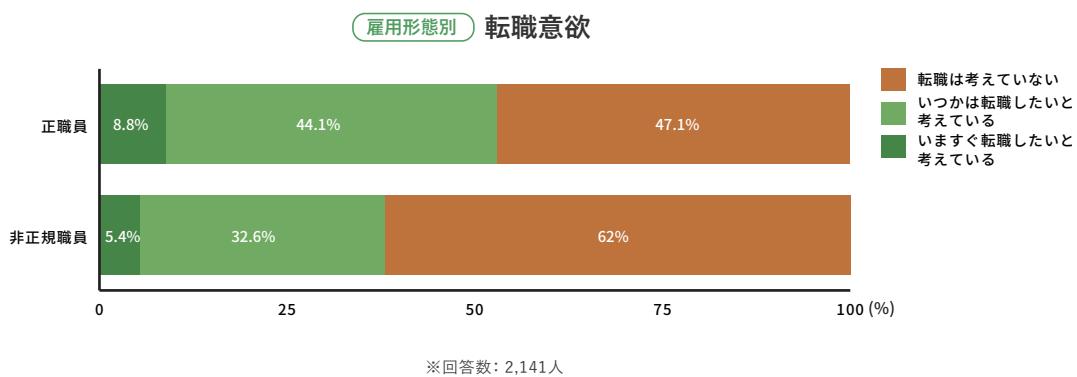
※回答数: 2,141人

介護職員調査

05. 今後のキャリアについて

5-1. 現在の転職意欲

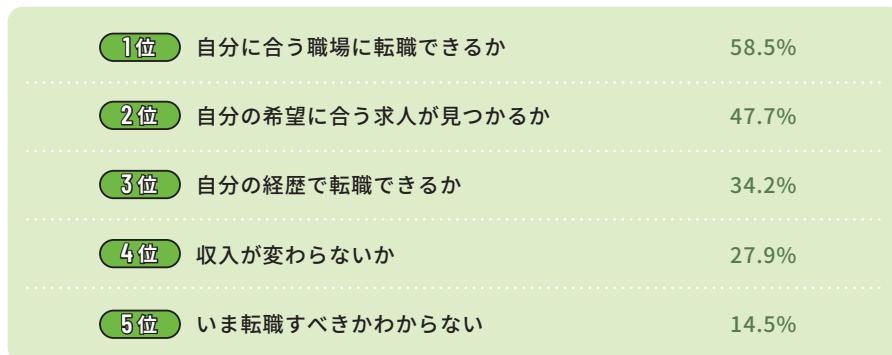
現在の転職意欲は、正職員・非正規職員ともに「転職は考えていない」がもっとも多い結果となりました。勤続年数別に見ると、1年～3年未満のみ「いつかは転職したいと考えている(45%)」が他の選択肢を上回っています。本調査の「2-8. 現在の職場の満足度」の結果によると、入職後1年～3年は「給与水準の低さ」や「事業所の雰囲気や社風が悪い」ことなどに不満を抱えている方が多く、転職を考えるきっかけとなっているのかもしれません。ただし、職場への満足度による転職意欲を見ると、不満を抱えている方のうち「いますぐ転職したいと考えている」という方は15%に留りました。



介護職員調査

5-2. 転職に関して不安に感じること

「5-1. 現在の転職意欲」の調査で「今すぐ転職したい」または「いつかは転職したい」と考えている方が転職に関して不安に感じていることについて調査したところ、「自分に合う職場に転職できるか(58.5%)」がもっとも多く、次いで「自分の希望に合う求人が見つかるか(47.7%)」、「自分の経験で転職できるか(34.2%)」という結果となりました。また、経験年数別に見ると、経験年数が浅い方は「自分の経験で転職できるか」や「面接がうまくいか」などに不安を覚える方が多いということがわかります。



※回答数: 1,018人

経験年数別　転職に関して不安に感じていること

経験年数 (回答数)	1年未満 (17s)	1年～3年未満 (40s)	3年～10年未満 (350s)	10年～ (611s)
1位	自分に合う職場に転職できるか 58.8%	自分に合う職場に転職できるか 55%	自分に合う職場に転職できるか 59.1%	自分に合う職場に転職できるか 58.4%
2位	自分の希望に合う求人が見つかるか 52.9%	自分の経験で転職できるか 37.5%	自分の希望に合う求人が見つかるか 45.1%	自分の希望に合う求人が見つかるか 49.9%
3位	自分の経験で転職できるか 41.2%	自分の希望に合う求人が見つかるか 35%	自分の経験で転職できるか 38.9%	自分の経験で転職できるか 31.1%
4位	収入が変わらないか 23.5%	収入が変わらないか 27.5%	収入が変わらないか 22.9%	収入が変わらないか 30.9%
5位	いま転職すべきかわからない 17.6%	面接がうまくいか 17.5%	いま転職すべきかわからない 14.3%	いま転職すべきかわからない 14.6%

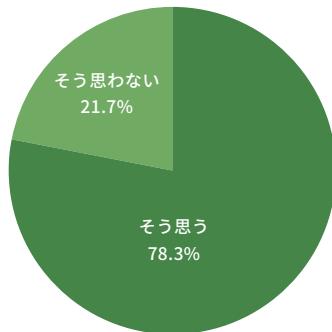
※回答数: 1,018人

介護職員調査

5-3. ずっと介護職を続けたいと感じるか

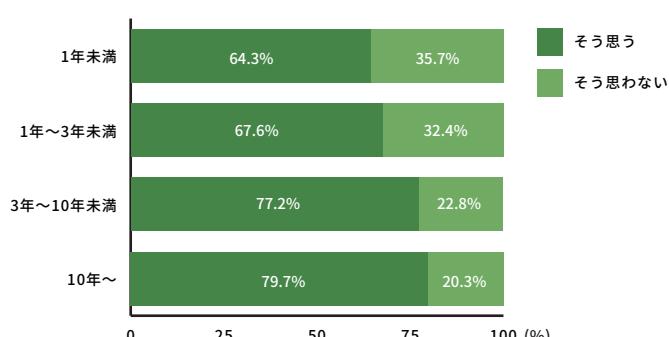
介護職員をこれからも続けたいかについて調査した結果、78.3%の方が「そう思う」と回答しました。経験年数を重ねるにつれて、介護の仕事を続けたいという思いは強まっていく傾向にあるようです。

これからも介護職を続けたいか



※回答数: 2,141人

経験年数別 これからも介護職を続けたいか



※回答数: 2,141人

一方で、「そう思わない」と回答した方の理由を調査した結果、「特になし」が42%でもっと多く、「介護や医療・福祉関連以外の業界に転職したい(40.1%)」となりました。特に、経験年数1年目以降の方は異業界への転職を希望する方が増えています。

経験年数 (回答数)	全体 (464s)	1年未満 (10s)	1年～3年未満 (23s)	3年～10年未満 (156s)	10年～ (275s)
1位	特になし 42%	特になし 60%	介護や医療・福祉関連 以外の業界に転職したい 34.8%	介護や医療・福祉関連 以外の業界に転職したい 46.8%	特になし 44%
2位	介護や医療・福祉関連 以外の業界に転職したい 40.1%	介護や医療・福祉関連 以外の業界に転職したい 20%	特になし 34.8%	特になし 38.5%	介護や医療・福祉関連 以外の業界に転職したい 37.5%
3位	その他 8.2%	施設長やホーム長に キャリアアップしたい 10%	ケアマネージャーやサービス提供責任者 などにキャリアアップしたい 13%	ケアマネージャーやサービス提供責任者 などにキャリアアップしたい 6.4%	その他 9.5%
4位	ケアマネージャーやサービス提供責任者 などにキャリアアップしたい 6.5%	その他 10%	看護師やリハビリ職などに キャリアチェンジしたい 8.7%	その他 5.8%	ケアマネージャーやサービス提供責任者 などにキャリアアップしたい 6.2%
5位	施設長やホーム長に キャリアアップしたい 1.9%	ケアマネージャーやサービス提供責任者 などにキャリアアップしたい 0%	その他 8.7%	看護師やリハビリ職などに キャリアチェンジしたい 1.9%	施設長やホーム長に キャリアアップしたい 2.5%

※回答数: 464人

介護職員調査

「介護や医療・福祉関連以外の業界に転職したい」と回答した方の、異業界へ転職したい理由としては、「いまの給与に不満があるから(18.3%)」、「ほかの仕事に興味があるから(14.5%)」、「いまの仕事内容が向いていないと感じるから(14.5%)」が上位に並びました。

1位	いまの給与に不満があるから	18.3%
2位	ほかの仕事に興味があるから	14.5%
3位	いまの仕事内容が向いていないと感じるから	14.5%
4位	体力に限界を感じたから	13.4%
5位	いまの労働環境に不満があるから	11.8%

※回答数: 186人 ※5位まで抜粋

介護職員調査

5-4. 今後取得したい資格

今後取得したい資格については、「介護支援専門員（ケアマネージャー）」が17.7%でもっとも多く、次いで「介護福祉士（10.4%）」「社会福祉士（8.6%）」でした。経験年数別で見ると、介護職歴10年未満は「介護福祉士」を目指している方が多く、10年目を越えると介護福祉士は取得が完了し、次の資格として「介護支援専門員（ケアマネージャー）」を目指す方が増えるようです。

1位	介護支援専門員(ケアマネージャー)	17.7%
2位	介護福祉士	10.4%
3位	社会福祉士	8.6%
4位	認知症ケア専門士	7.8%
5位	喀痰吸引等研修	7.1%

※回答数：2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

経験年数別 今後取得したい資格

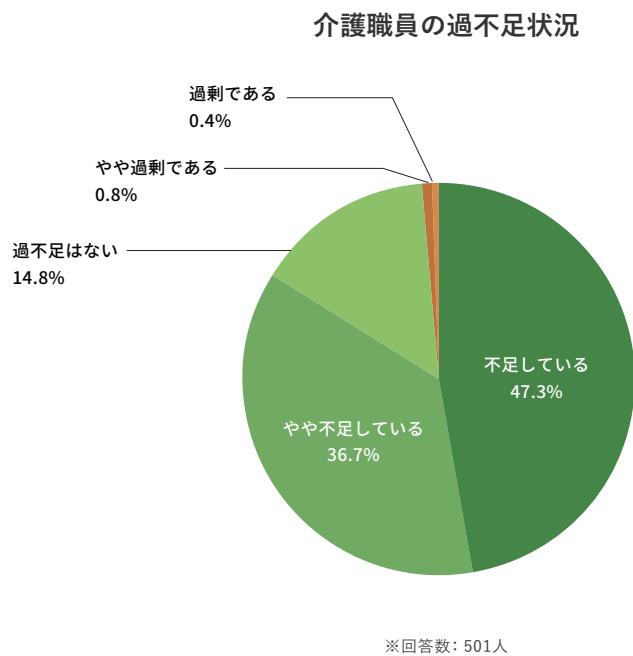
経験年数 (回答数)	1年未満 (28s)	1年～3年未満 (71s)	3年～10年未満 (685s)	10年～ (1357s)
1位	介護福祉士 39.3%	介護福祉士 39.4%	介護福祉士 19%	介護支援専門員 (ケアマネージャー) 17.3%
2位	介護福祉士実務者研修 (旧ヘルパー1級) 21.4%	介護福祉士実務者研修 (旧ヘルパー1級) 19.7%	介護支援専門員 (ケアマネージャー) 18.8%	社会福祉士 8.3%
3位	社会福祉士 17.9%	介護支援専門員 (ケアマネージャー) 15.5%	社会福祉士 9.2%	認知症ケア専門士 7.8%
4位	介護支援専門員 (ケアマネージャー) 10.7%	主任ケアマネージャー (主任介護支援専門員) 8.5%	認知症ケア専門士 8.3%	喀痰吸引等研修 7.4%
5位	介護職員初任者研修 (旧ヘルパー2級) 7.1%	ガイドヘルパー 5.6%	喀痰吸引等研修 7.2%	認定介護福祉士 6.2%

※回答数：2,141人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

01. 介護職員の採用について

1-1. 介護職員の過不足状況

介護事業所における介護職員の過不足状況は、「不足している」と「やや不足している」という回答が84%を占めており、ほとんどの介護事業所で人手不足が発生していることがわかりました。



介護事業所調査

1-2. 介護職員の採用方法

介護職員の採用方法は、「ハローワーク」が77.6%でもっとも多く、次いで「求人サイト(54.9%)」「友人・知人からの紹介(39.7%)」という結果になりました。一方、エリア別で見ると、東京／神奈川／埼玉／千葉／大阪エリアは、「ハローワーク」と「求人サイト」が同率1位(65.9%)で、「転職支援サービス(転職エージェント)」が48.8%で3位に浮上しています。エリアによって、さまざまな採用方法が利用されていることがわかります。

1位	ハローワーク	77.6%
2位	求人サイト	54.9%
3位	友人・知人からの紹介	39.7%
4位	事業所の公式HP・採用サイト	35.3%
5位	転職支援サービス(転職エージェント)	34.5%

※回答数: 501人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

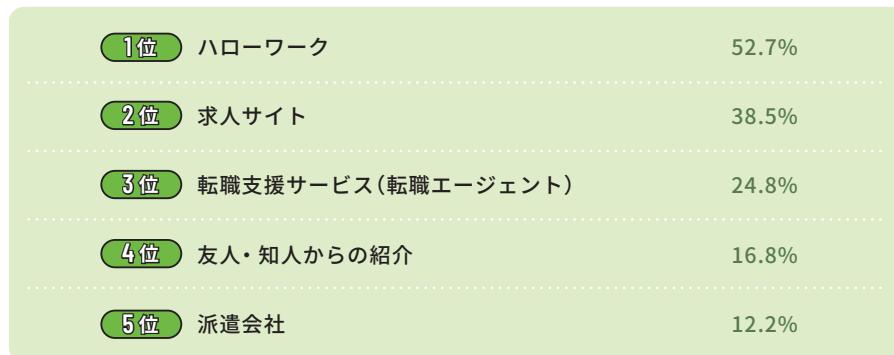
エリア別 介護職員の採用方法

エリア (回答数)	東京／神奈川／埼玉／千葉／大阪 (205s)	それ以外 (296s)
1位	求人サイト 65.9%	ハローワーク 85.8%
1位	ハローワーク 65.9%	求人サイト 47.3%
3位	転職支援サービス(転職エージェント) 48.8%	友人・知人からの紹介 39.5%
4位	友人・知人からの紹介 40%	事業所の公式HP・採用サイト 32.4%
5位	事業所の公式HP・採用サイト 39.5%	派遣会社 27.7%

※回答数: 501人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

介護事業所調査

介護職の採用方法のうち、満足度の高かったものは、「ハローワーク」が52.7%でもっとも多く、次いで「求人サイト(38.5%)」、「転職支援サービス(転職エージェント)(24.8%)」となりました。エリア別で見ると、東京／神奈川／埼玉／千葉／大阪エリアは、「ハローワーク」と「求人サイト」の順位が逆転しています。また、「転職支援サービス(転職エージェント)」の満足度が全国平均よりも高い点も特徴です。



※回答数: 501人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

(エリア別) 満足度の高かった採用方法

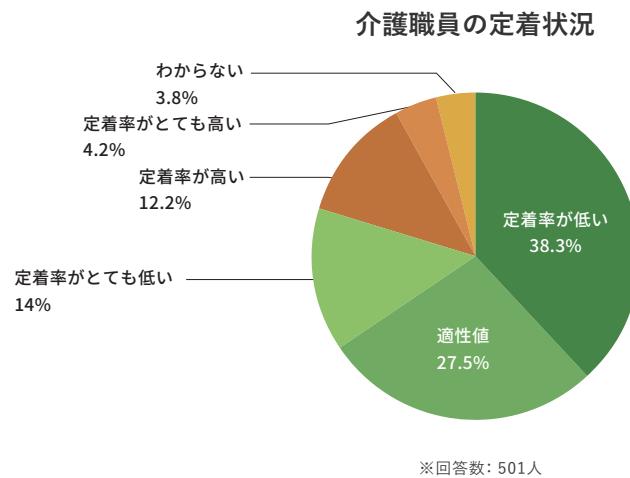


※回答数: 501人 ※複数回答 ※5位まで抜粋

02. 介護職員の離職防止・定着について

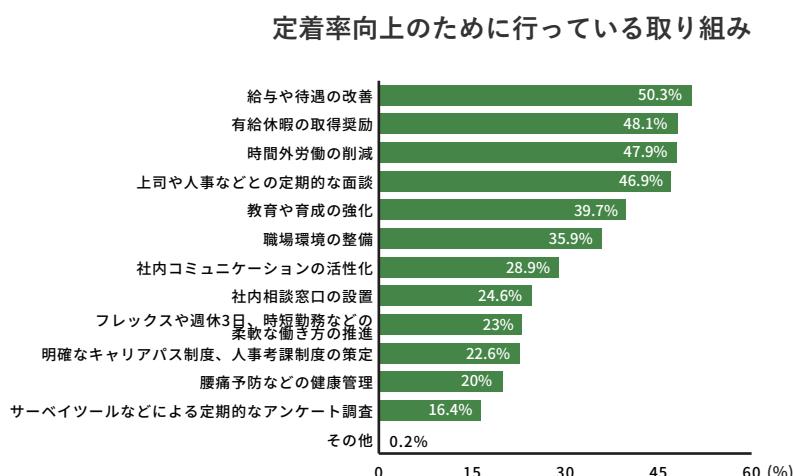
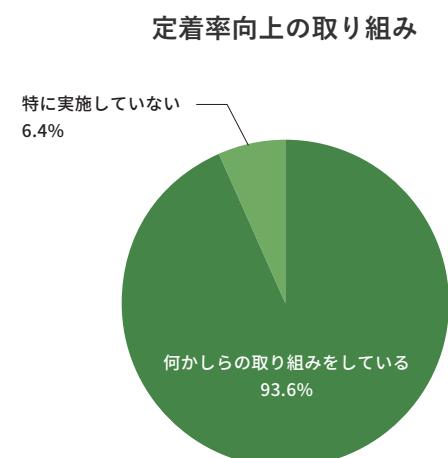
2-1. 介護職員の定着状況

介護職員の定着状況では、「定着率が低い（とても低い、低いを含む）」という回答が52.3%と過半数を占めました。一方、2021年度の調査では24.4%にとどまっていた「適性値」が27.5%に増えています。定着状況が改善傾向にある事業所が増えているのかもしれません。



2-2. 現在行っている定着率向上の取り組み

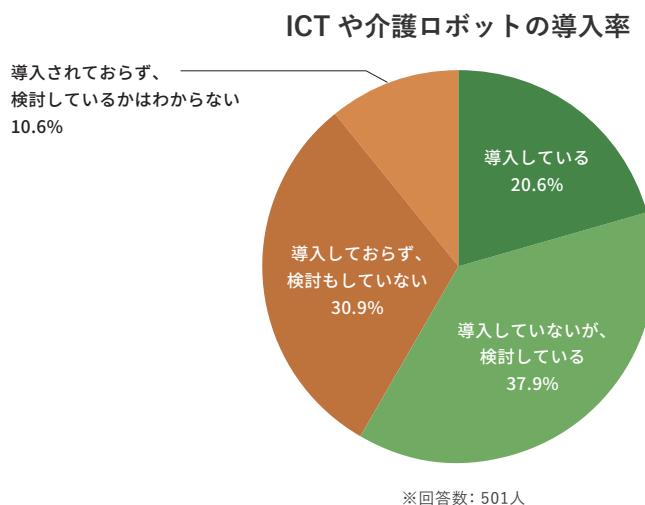
現在行っている定着率向上の取り組みについては、93.6%の事業所がなにかしらの取り組みを実施しているという結果になりました（2021年度調査では87.6%）。また、実施率が高い具体的な取り組みの内容としては、「給与や待遇の改善（50.3%）」、「有給休暇の取得奨励（48.1%）」「時間外労働の削減（47.9%）」でした。定着率向上の取り組みを行う事業所は年々増えているようです。



03. 介護事業所の ICT・介護ロボットの活用について

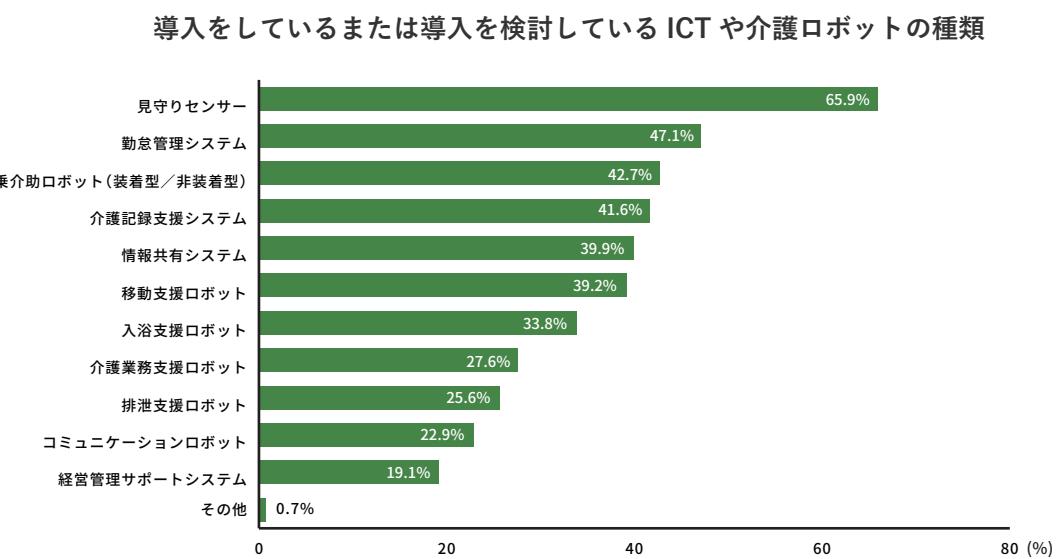
3-1. ICT や介護ロボットの導入率

ICT や介護ロボットの導入率は、「導入している」が 20.6% でした。



3-2. 導入をしているまたは導入を検討している ICT や介護ロボットの種類

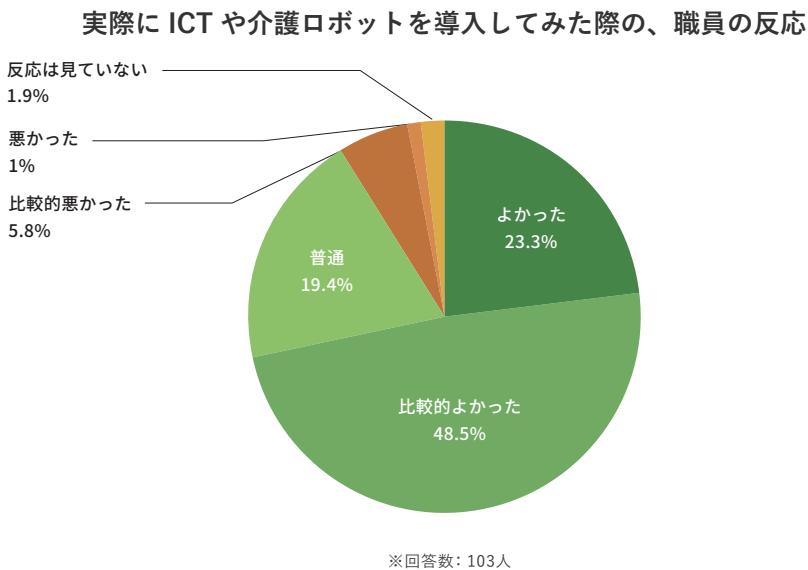
導入をしているまたは導入を検討している ICT や介護ロボットの種類は、「見守りセンサー」が 65.9% でもっとも多く、次いで「勤怠管理システム (47.1%)」、「移乗介助ロボット（装着型／非装着型）(42.7%)」という結果になりました。



介護事業所調査

3-3. ICT や介護ロボットを導入時の介護職員の反応

ICT や介護ロボット導入時の職員の反応は、「よかった」「比較的よかった」という回答が全体の 7 割を占めています。ICT や介護ロボットの使用について、ポジティブに捉えている介護職員が多いようです。



3-4. ICT や介護ロボットを導入後の効果

ICT や介護ロボットを導入後の効果は、「現場の業務効率化につながった」が 56.3% ともっとも多く、「職場環境が改善された (37.9%)」、「介護の質が改善された (35.9%)」と続きます。

1位	現場の業務効率化につながった	56.3%
2位	職場環境が改善された	37.9%
3位	介護の質が改善された	35.9%
4位	職員の精神的な負担が軽減された	33%
4位	職員の身体的な負担が軽減された	33%

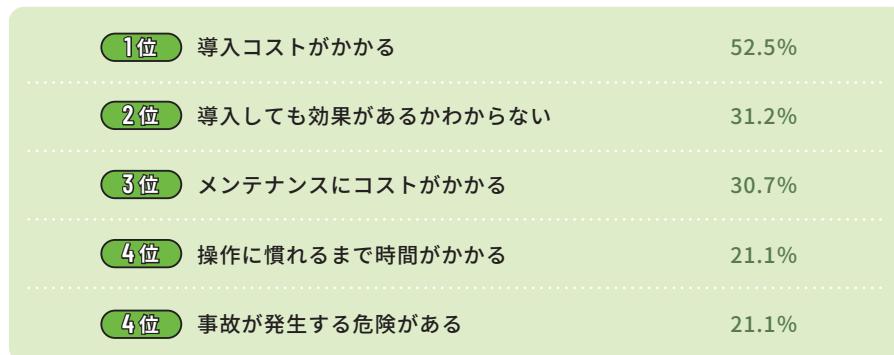
※回答数: 103人 ※5位まで抜粋

介護事業所調査

3-5. ICT や介護ロボットを導入していない理由や懸念点

ICT や介護ロボットを導入していない理由や懸念点は、「導入コストがかかる (52.5%)」がもっとも多く、次いで「導入しても効果があるかわからない (31.2%)」「メンテナンスにコストがかかる (30.7%)」という結果になりました。

また、現在導入していないが検討していると回答した事業所は、主に維持費を含めたコスト面を気にかけています。一方、検討していないと回答した事業所は、導入の効果や必要性に疑惑を抱いているようです。



※回答数: 398人 ※5位まで抜粋



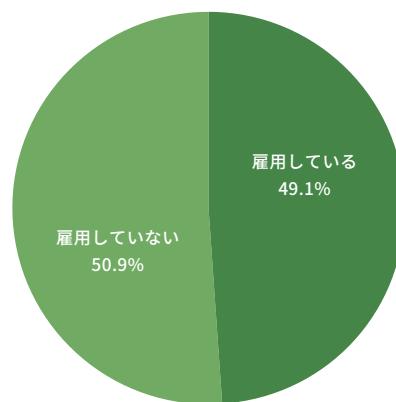
※5位まで抜粋

04. 外国人スタッフの雇用について

4-1. 外国人スタッフの雇用経験

外国人スタッフを雇用しているかという質問に対しては、「雇用している」が49.1%、「雇用していない」が50.9%という結果になりました。

外国人スタッフを雇用しているか



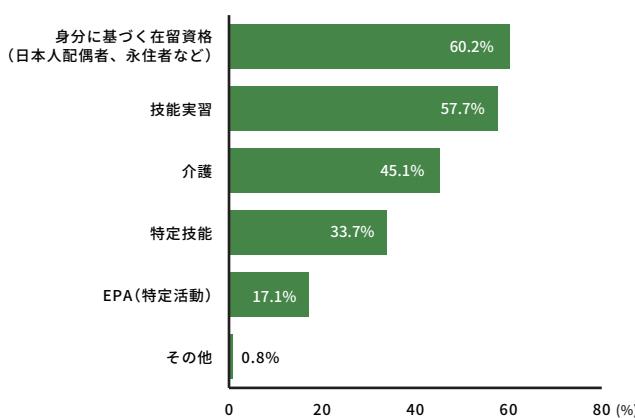
※回答数: 501人

4-2. 雇用経験のある外国人の在留資格と国籍

雇用経験のある外国人スタッフの在留資格は、「身分に基づく在留資格」が60.2%ともっと多く、「技能実習(57.7%)」「介護(45.1%)」と続きます。

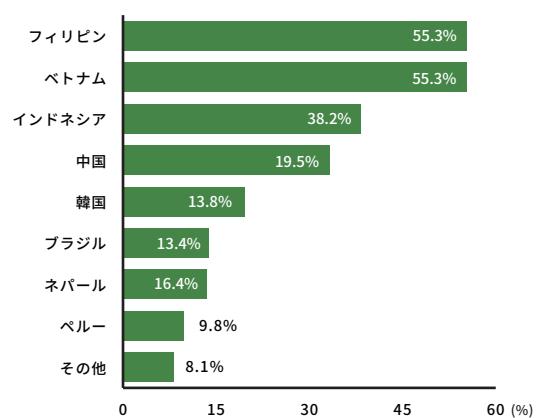
また、外国人スタッフの国籍は、「フィリピン(55.3%)」と「ベトナム(55.3%)」が比較的多く、「インドネシア(38.2%)」「中国(33.3%)」と続きます。

雇用経験のある在留資格



※回答数: 246人

雇用経験のある外国人の国籍



※回答数: 246人

介護事業所調査

4-3. 外国人スタッフの採用方法

外国人スタッフの採用方法は、「人材会社経由 (47.2%)」「職員の知り合い経由 (35.4%)」など、人脈による方法が多いことがわかりました。

1位 人材会社経由(もともとの繋がりのあった人材会社) 47.2%

2位 職員の知り合い経由 35.4%

2位 技能実習経由 35.4%

4位 人材会社経由(知り合いから紹介された人材会社) 35.0%

5位 募集広告 27.2%

※回答数: 246人 ※5位まで抜粋

4-4. 外国人スタッフを採用する時に感じた不安

外国人スタッフのを採用するときに感じた不安は、「日本語能力への懸念 (67.1%)」がもっと多く、「チームワークや協調性への懸念 (47.2%)」「文化や職場慣習の違いによる日本人社員との衝突への懸念 (42.3%)」と続きます。

1位 日本語能力への懸念 67.1%

2位 チームワークや協調性への懸念 47.2%

3位 文化や職場慣習の違いによる日本人社員との衝突への懸念 42.3%

4位 外国人向けに研修などが整備されていない 41.9%

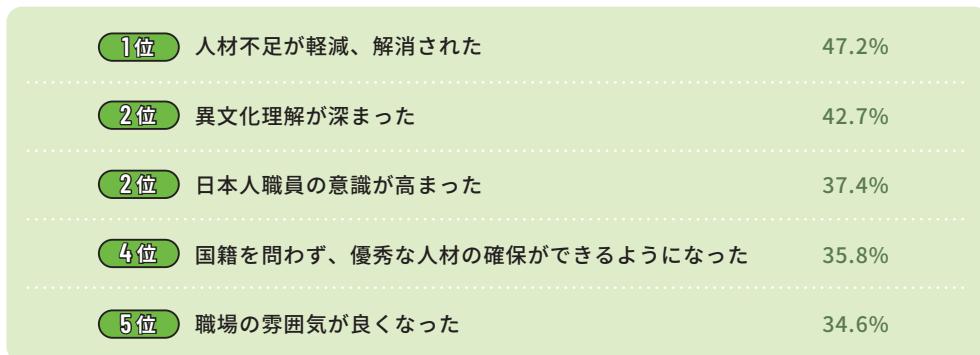
5位 介護技術の取得に時間がかかることへの懸念 37.4%

※回答数: 246人 ※5位まで抜粋

介護事業所調査

4-5. 外国人スタッフを雇用してよかったですと感じること

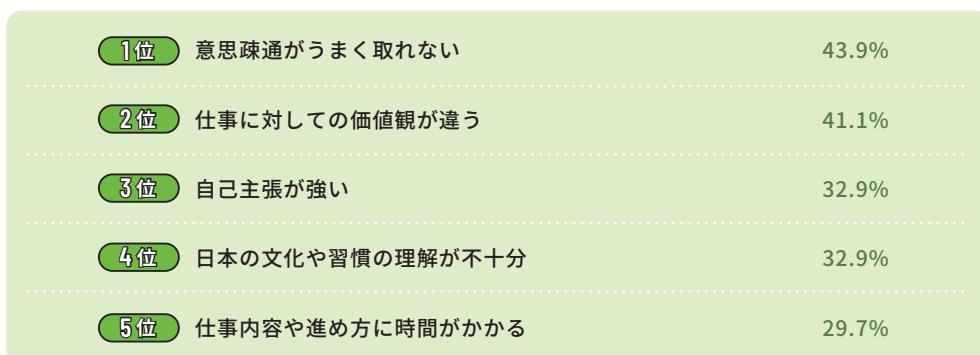
外国人スタッフを雇用してよかったですと感じることは、「人材不足が軽減、解消された(47.2%)」、「異文化理解が深まった(42.7%)」が同率、次いで「日本人職員の意識が高まった(37.4%)」と続きます。



※回答数: 246人 ※5位まで抜粋

4-6. 外国人スタッフを雇用して困ったこと

外国人スタッフを雇用して困ったことは、「意思疎通がうまく取れない(43.9%)」がもっと多く、「仕事に対しての価値観が違う(41.1%)」「自己主張が強い(32.9%)」という結果になりました。



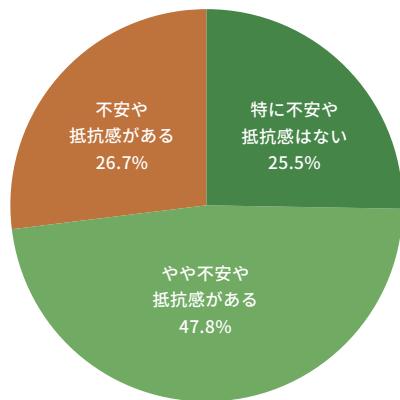
※回答数: 246人 ※5位まで抜粋

介護事業所調査

4-7. 今後の外国人スタッフの受け入れ意欲

現在、外国人スタッフを雇用していない事業所の今後の受け入れ意欲は、74.5%が不安や抵抗感を抱えているという結果になりました。

今後の外国人スタッフの受け入れ意欲



※回答数: 501人

4-8. 外国人スタッフの受け入れに関して不安や抵抗を感じること

外国人スタッフの受け入れに関して不安や抵抗を感じることは、「日本語能力 (79.6%)」がもっとも多く、「価値観が違う (59.6%)」「いまいる職員との関係性が崩れないか (33.7%)」という結果となりました。

1位	日本語能力	79.6%
2位	価値観が違う	59.6%
3位	いまいる職員との関係性が崩れないか	33.7%
4位	介護技術の取得に時間がかかる	31.8%
5位	宗教関係	31.4%

※回答数: 255人

きらケア介護白書 2022

調査概要

調査目的：介護士・介護事業所の実態把握

調査期間：2022年09月22日～2022年10月04日

調査方法：インターネット調査

介護職員側調査

<有効回答数> 2145s

<調査対象> 18歳～69歳男女

<男女内訳> 男性 804s 女性 1341s

介護事業所側調査

<有効回答数> 501s

<調査対象> 介護事業所に勤める採用担当

<男女内訳> 男性 366s 女性 135s

発行年 2022年11月

レバレジーズメディカルケア株式会社 きらケア

自分らしく働ける介護を。



PRODUCED BY Leverages